

CLAIR REPORT No.493

コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会の運営について

Clair Report No.493 (December 11, 2019)

(一財)自治体国際化協会 シドニー事務所



一般財団法人

自治体国際化協会

「CLAIR REPORT」の発刊について

当協会では、調査事業の一環として、海外各地域の地方行財政事情、開発事例等、様々な領域にわたる海外の情報を分野別にまとめた調査誌「CLAIR REPORT」シリーズを刊行しております。

このシリーズは、地方自治行政の参考に資するため、関係の方々に地方行財政に係わる様々な海外の情報を紹介することを目的としております。

内容につきましては、今後とも一層の改善を重ねてまいりたいと存じますので、御叱責を賜れば幸いに存じます。

本誌からの無断転載はご遠慮ください。

問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル

(一財)自治体国際化協会 総務部 企画調査課

TEL: 03-5213-1722

FAX: 03-5213-1741

E-Mail: webmaster@clair.or.jp

はじめに

我が国においては、2021年5月に、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西が開催される。ラグビーワールドカップ 2019 日本大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に続き、3年連続で大規模国際スポーツ大会が日本で開催されることとなる。

一方、オセアニアにおいては、大規模国際スポーツ大会については、2017年にニュージーランドのオークランド市等でワールドマスターズゲームズが開催され、さらに2018年にオーストラリアのゴールドコースト市等でコモンウェルスゲームズが開催されたところである。これらにより、両国では、ワールドマスターズゲームズ夏季大会が全9回中4回、コモンウェルスゲームズが全21回中8回開催されたこととなる。両国は、まさに、大規模国際スポーツ大会開催に関する経験と知見が豊富な国と言えよう。

こうしたオーストラリアとニュージーランドでの経験と知見を、我が国の大規模国際スポーツ大会の運営等に活かしてもらえるよう、Clair Report No.457「2017年ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会の運営及び成果」に続き、本事務所職員が、コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会の運営等に関し学んだ具体的な知見等を、開催都市立候補に始まる経緯を含め、本稿に整理したところである。

本稿に示す詳細な知見やデータが、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等の準備・運営や、今後、大規模国際スポーツ大会の招致・準備・運営に携わる方々の参考になれば、幸いである。

(一財) 自治体国際化協会シドニー事務所長
赤岩 弘智

目次

はじめに	3
概要.....	6
第1章 コモンウェルスゲームズの歴史及び概要.....	7
第1節 コモンウェルスゲームズの歴史.....	7
第2節 コモンウェルスゲームズの概要.....	10
第2章 コモンウェルスゲームズ2018年ゴールドコースト大会.....	12
第1節 ゴールドコースト大会の概要	12
第2節 ゴールドコースト大会における競技	15
第3節 ゴールドコースト大会実施に関わる各種計画.....	17
第4節 オブザーバープログラム.....	17
第3章 オブザーバープログラム－座学編.....	19
第1節 ゴールドコースト大会マスタープラン.....	19
第2節 競技会場の整備	20
1 競技会場の整備－会場が充たすべき要件.....	20
2 競技会場－整備の方針	22
3 競技会場の整備－進行管理.....	24
4 オーバーレイ.....	25
第3節 選手村の整備.....	27
1 選手村の概要.....	27
2 選手村の整備方針	27
3 ゴールドコースト保健・知識集積地区開発計画.....	28
第4節 レガシー	29
1 レガシー創出に向けた取組.....	29
2 カララスポーツ地区再開発.....	31
3 取組の効果	33
第5節 チケット販売.....	33
第6節 運営従事者（WORKFORCE）	36
第7節 大会プロモーション及び観客の受入れ.....	38
第8節 トレード2018（Trade 2018 Games Time Trade and Investment Program）	39
第4章 オブザーバープログラム－会場視察編	42
第1節 マウンテンバイク.....	42

第2節	UAC	42
第3節	マラソン	44
第4節	カララスタジアム.....	45
第5節	カララスポーツ・レジヤセンター	46
第6節	ゴールドコーストアクアティックセンター	47
第7節	ビーチバレーボール会場.....	49
第8節	選手村.....	50
第5章	ケアンズ市担当者へのインタビュー	53
おわりに	56
参考文献	57

概要

日本では、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会を終え、今後、さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西と、大規模な国際スポーツ大会の開催が控えている。そこで、これらの大会に向けて準備を進める地方自治体等の参考となる情報を収集するため、コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会を調査した。調査に当たっては、コモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップス等が主催するオブザーバーツアーに参加した。また、ゴールドコースト大会開催に合わせて開催地自治体は経済の活性化や観光地としての魅力発信にも取り組んだことから、地方会場であるケアンズ市を訪問し調査を実施した。本稿は、これらの調査結果を報告するものである。

第 1 章では、日本ではあまりなじみのないコモンウェルスゲームズの概要について解説する。

第 2 章では、コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会の概要について説明する。

第 3 章及び第 4 章では、当事務所職員がオブザーバーツアーで学んだことを中心に報告する。オブザーバーツアーは座学と会場視察で構成されており、ゴールドコースト大会運営にあたり策定した各種計画の解説及び各種計画をどのように実行していったかなどが示された。

第 5 章では、地方会場の一つとなっているケアンズ市を当事務所職員が訪問し、同市がゴールドコースト大会にどのように関与したのか、ゴールドコースト大会が地域の国際化・活性化にどのような効果をもたらすのかといった点について、地域経済活性化の担当者にインタビューを実施し聴取した内容を報告する。

第1章 コモンウェルスゲームズの歴史及び概要

第1節 コモンウェルスゲームズの歴史

コモンウェルスゲームズ (Commonwealth Games) とは、イギリス連邦に属する国と地域¹が参加する国際総合スポーツ大会である。1930年に第一回大会が開催されて以降、4年に一度開催されている。1942年及び1946年の大会は、第二次世界大戦の影響で開催されなかった²。

コモンウェルスゲームズの構想は、1819年にイギリス人牧師であるジョン・アストレー・クーパー (John Astley Cooper) が「タイムズ」誌で発表した、大英帝国諸国の産業、文化及びスポーツの祭典の創設に関する提案に見られる。この提案は議論を呼んだものの、すぐには実現に結びつかなかった。しかし、この提案自体は人々の記憶に残り、1911年にジョージ5世の即位を記念して開催された大英帝国祭典 (Festival of Empire) において、大英帝国諸国が参加する競技大会が開催された。この競技大会は成功したものの、その後、第一次世界大戦が勃発したことで、同様の競技大会を再度開催するための計画は立案されなかった。

カナダのオンタリオ州ハミルトン市の地元紙である「ハミルトン・スペクテイター」所属のカナダ人スポーツ記者であるメルヴィル・マークス・ロビンソン (Melville Marks Robinson) は、第一次世界大戦への反省から、戦争ではなく平和的かつ友好的に諸国が交流する、かつて大英帝国祭典で実施されたような、大英帝国域内の国際親善を目的とする競技大会の開催を志した。ロビンソンはカナダの陸上競技のマネージャーとして1928年のアムステルダムオリンピックに参加した経験もあり、スポーツ界に影響力を有していた。ロビンソンの努力が実を結び、1930年にハミルトンで第一回大英帝国スポーツ大会 (British Empire Games) が開催された³。

¹ イギリス連邦に属する国と地域については、下記ウェブサイトを参照のこと。

< <http://thecommonwealth.org/member-countries> > (Accessed 2019-09-03)

² コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会公式サイト

< <https://gc2018.com/history-games> > (Accessed 2019-03-11)

³ Lennon, Troy, The Dairy Telegraph, *Anglo-Saxon festival become one of the biggest global sports events*, July 23, 2014 < <https://www.dailytelegraph.com.au/news/nsw/anglosaxon-festival-became-one-of-the-biggest-global-sports-events/news-story/202a8d8b3e7ed4f67ddbceff5b4832d6> > (Accessed 2019-03-11)

Moore, Katharine Elizabeth, *The concept of British Empire games: an analysis of its origin and evolution from 1891 to 1930*, The University of Queensland, January 1st, 1987

< <https://espace.library.uq.edu.au/view/UQ:350058> > (Accessed 2019-03-11)

Canada's Sports Hall of Fame, Canadian History and Society through the lens of Sport, *Webisode Robinson's Trunk* < <http://canadasports150.ca/en/british-empire-games-commonwealth-games/artefact-webisode-robinsons-trunk/38> > (Accessed 2019-03-11)

inside the games, 1930 – Hamilton, < <https://www.insidethegames.biz/articles/5248/1930-hamilton> > (Accessed 2019-03-11)

1930年のハミルトン大会以降、大会は4年に1度開催されることとなった。大会は、開催当初は大英帝国スポーツ大会という名称であったが、1931年のウエストミンスター憲章によりカナダは完全な自治権を得ていたこと、また1947年にカナダはイギリス連邦内で大英帝国と平等の地位にあることを宣言していたことから⁴、1954年のバンクーバー大会から大会の名称が大英帝国及びイギリス連邦スポーツ大会（British Empire and Commonwealth Games）に変更された。大英帝国が終焉したのち、1966年のキングストン大会からは、大会の名称がイギリス連邦スポーツ大会（British Commonwealth Games）に変更された。1976年にはアパルトヘイト政策が採られていた南アフリカにニュージーランドのラグビーチームが遠征したことを巡り、アフリカの22か国がモントリオールオリンピックをボイコットするという事態が発生した。これを受けて、1978年エドモントン大会の準備に当たっては、アフリカ諸国がイギリス連邦スポーツ大会をボイコットしないよう注意が払われた。その一環として大会の近代化が図られ、帝国主義的な雰囲気を感じさせる「British」という言葉が大会名から削除された。その結果、1978年のエドモントン大会以降は現在の名称であるコモンウェルスゲームズとなった⁵。

⁴ 在日カナダ大使館ウェブサイト < https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/about-a_propos/timeline-chronologie.aspx?lang=jpn >（閲覧日：2019年3月11日）

⁵ ジャージーコモンウェルスゲームズ協会（Commonwealth Games Association Jersey）ウェブサイト <

<file:///J:/08%20%E8%AA%BF%E6%9F%BB/2018/4%E6%9C%88%E3%80%80Commonwealth%20games%20GC/%E3%82%B3%E3%83%A2%E3%83%B3%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%82%B9%E3%82%B2%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%BA%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/History-of-the-Games-1930-to-2010.pdf> >（Accessed 2019-03-11）

Canada's Sports Hall of Fame, Canadian History and Society through the lens of Sport, *1978 Commonwealth Games – Edmonton* < <http://canadasports150.ca/en/british-empire-games-commonwealth-games/1978-commonwealth-games-edmonton/35> >（Accessed 2019-03-12）

(図表1-1) コモンウェルスゲームズの開催状況⁶

	開催年	開催地	参加国・地域数	競技数	参加選手数
1	1930	ハミルトン (カナダ)	11	6	400
2	1934	ロンドン (イングランド)	16	6	500
3	1938	シドニー (オーストラリア)	15	7	464
4	1950	オークランド (ニュージーランド)	12	9	590
5	1954	バンクーバー (カナダ)	24	9	662
6	1958	カーディフ (ウェールズ)	35	9	1,122
7	1962	パース (オーストラリア)	35	9	863
8	1966	キングストン (ジャマイカ)	34	9	1,050
9	1970	エディンバラ (スコットランド)	42	9	1,383
10	1974	クライストチャーチ (ニュージーランド)	38	9	1,276
11	1978	エドモントン (カナダ)	46	10	1,474
12	1982	ブリスベン (オーストラリア)	46	10	1583
13	1986	エディンバラ (スコットランド)	26	10	1,662
14	1990	オークランド (ニュージーランド)	55	10	2,073
15	1994	ビクトリア (カナダ)	63	10	2,557
16	1998	クアラルンプール (マレーシア)	70	10	3,633
17	2002	マンチェスター (イングランド)	72	17	3,679
18	2006	メルボルン (オーストラリア)	71	16	4,049
19	2010	デリー (インド)	71	17	4,352
20	2014	グラスゴー (イングランド)	71	17	4,800
21	2018	ゴールドコースト (オーストラリア)	70	18	4,500

⁶ コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト< <https://thecgf.com/games#commonwealth-games> >(Accessed 2019-01-28)

第2節 コモンウェルスゲームズの概要

コモンウェルスゲームズは、ロンドンに本部を置くコモンウェルスゲームズ連盟 (Commonwealth Games Federation) が主催者として、競技プログラムの監修や開催地の選定等をしている⁷。コモンウェルスゲームズ連盟は、大会を21世紀にふさわしいものにするようなスポーツ界の動きを創出することを目指しており、その実現のための一つの方策として、2017年7月にコモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップス (CGF Partnerships)⁸を設立した。コモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップスの目標は、①新しい大会運営モデルの提供、②長期的視野に立った経済戦略の開発、③大会開催国のコミュニティをより強固なものにするを通じた大会開催都市に対する支援を改善することにあるとされている。

また、コモンウェルスゲームズ連盟は、2015年に「トランスフォーメーション2022」⁹という戦略計画を策定した。同計画は、①コモンウェルスゲームズを革新的な競技大会にすること、②質の高いガバナンスを実現すること、③イギリス連邦のアスリートやコミュニティに広く恩恵をもたらすよう関係者との協力関係を構築すること、④コモンウェルスゲームズ連盟のブランド価値の開発及び増進という4つの目標を、2015年から2022年までの7年間でコモンウェルスゲームズ連盟が優先して取り組むべき目標として定めるとともに、いつまでにどのようなことを実行するのかという点についても規定している。コモンウェルスゲームズ連盟のCEOであるデヴィッド・グレヴェンバーグ (David Grevenberg) は、同計画において実現すべきものの一つは、新しい大会運営モデルを確立することであるとしている。コモンウェルスゲームズの規模が拡大するとともに大会開催にかかるコストも上昇しており、特に近年は、コストの上昇に対して投資は伸び悩んでいたことから、大会運営を効率的かつ効果的なものにすることや、コストを抑えつつ大会をより魅力のあるものにするための新しい大会運営モデルの必要性が認識された。コモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップスは、大会準備の初期段階から大会の実施まで、大会の全ての局面でステークホルダーと協働することにより、コスト削減と大会運営の効率化を実現することが期待されている¹⁰。

⁷ コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト < <https://thecgf.com/about> > (Accessed 2019-01-28)

⁸ コモンウェルスゲームズ連盟とラグビースポーツが共同出資して設立した子会社。出資比率はコモンウェルスゲームズ連盟が60%、ラグビースポーツが40%である。

⁹ コモンウェルスゲームズ連盟 *Transformation 2022 The Commonwealth Games Federation Strategic Plan 2015 -2022*, 2015 < https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Transformation-2022_updateJul15_0.pdf > (Accessed 2019-01-30)

¹⁰ Long, Michael, SportsPro, *Spending the wealth: How CGF Partnerships is attempting to modernise the Commonwealth games* < <http://www.sportspromedia.com/from-the-magazine/commonwealth-games-cgf-partnerships-david-grevemberg-feature> > (Accessed 2019-03-11)

コモンウェルスゲームズでは、開催都市は16種目の必須競技（core sports）を実施しなければならない。この必須競技には、ローンボウルズやネットボールといったイギリス連邦に特徴的な競技が含まれている。必須競技のほか、開催都市は選択競技（optional sports）をコモンウェルスゲームズ連盟が定めるリストから選択して実施することができる。コモンウェルスゲームズ連盟は、国際パラリンピック委員会（International Paralympic Committee）¹¹の協力を得て、4種目のパラスポーツ（障がい者スポーツ）必須競技を定めている。開催都市は、このほかパラスポーツ選択競技をコモンウェルスゲームズ連盟が定めるリストから選択して実施することができる¹²。

（図表1-2）コモンウェルスゲームズにおける競技

必須競技	競泳、陸上競技（マラソンを含む）、バドミントン、自転車競技（ロードレース、タイムトライアル）、ボクシング、体操（器械体操）、ホッケー、柔道、ローンボウルズ、ネットボール、7人制ラグビー、スカッシュ、卓球、トライアスロン、ウェイトリフティング、レスリング（フリースタイル）
選択競技	アーチェリー、陸上競技（競歩）、バスケットボール（3×3）、ビーチバレーボール、自転車競技（マウンテンバイク、トラックレース）、飛込競技、体操（新体操）、射撃（クレー射撃、フルボアライフル射撃、ピストル、スモールボアライフル射撃）、クリケット
必須競技（パラ）	陸上競技、ローンボウルズ、パワーリフティング、競泳、
選択競技（パラ）	自転車競技（トラックレース）、卓球、車いすバスケットボール（3×3）、トライアスロン

¹¹ ドイツのボンに本部を置く、パラリンピックを主催する非営利の国際機関。

<<https://kotobank.jp/word/%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E3%83%91%E3%83%A9%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%B C%9A-1611796>> (Accessed 2019-03-11)

¹² オブザーバープログラム配布資料より

第2章 コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会

第1節 ゴールドコースト大会の概要

第21回コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会は、2018年4月4日から同月15日までオーストラリア連邦クイーンズランド州ゴールドコースト市等で開催された。ゴールドコースト市での開催は、2011年のコモンウェルスゲームズ連盟総会で決定された。ゴールドコースト市は、首都や州都ではないオーストラリアの地方都市でコモンウェルスゲームズを開催した初めての都市となった¹³。

クイーンズランド州政府コモンウェルスゲームズ事務局 (Office of Commonwealth Games)、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会 (Gold Coast Commonwealth Games Corporation, 略称はGOLDOC)、ゴールドコースト市、連邦政府、コモンウェルスゲームズ連盟、コモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップス、オーストラリアコモンウェルスゲームズ協会 (Australia Commonwealth Games Association) などが協力して大会の運営がなされた。ゴールドコースト大会の運営を担った主な組織とその主たる役割は、図表2-1のとおりである。

¹³ コモンウェルスゲームズ 2018年ゴールドコースト大会公式サイト
< <https://gc2018.com/history-games> > (Accessed 2019-03-11)

(図表2-1) ゴールドコースト大会の運営を担った主な組織とその主な役割¹⁴

主な組織	主な役割
クイーンズランド州政府	選手村をはじめとするインフラ整備など
コモンウェルスゲームズ事務局	ゴールドコースト大会実施に関与するクイーンズランド州各部署やゴールドコースト市等の関係組織との連絡調整
ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会 (2012年1月設立)	ゴールドコースト大会関連のイベントやプログラムを含む、ゴールドコースト大会の企画、実施、宣伝、知的財産権等の管理及び財務管理
ゴールドコースト市	ゴールドコースト大会開催前、開催中及び開催後にわたる大会運営に資する市政運営 観光客向けイベント開催や大会後の市のレガシーの創出 ゴールドコースト大会における多くの競技会場を保有
連邦政府	財政支援(保健省)、入国管理や税関(内務省)、セキュリティ対策(連邦警察)
コモンウェルスゲームズ連盟	大会の指揮監督、ポリシー策定など、関係者が円滑に協働できるよう調整
コモンウェルスゲームズ連盟パートナーシップス	大会の実施に関し、関係者が円滑に協働できるよう調整役を担うことなどを通じて、大会開催都市を支援
オーストラリアコモンウェルスゲームズ協会	オーストラリア国内での大会の実施、広報、発展を担当 資金調達、選手や関係者のユニフォームなどの衣類の調達、選手や関係者の移動や宿泊先の手配

※このほか、多くの民間企業が大会の運営に関与した。

¹⁴ クイーンズランド州政府ウェブサイト < <https://www.ditid.qld.gov.au/?a=201637> >

(Accessed 2019-03-12)

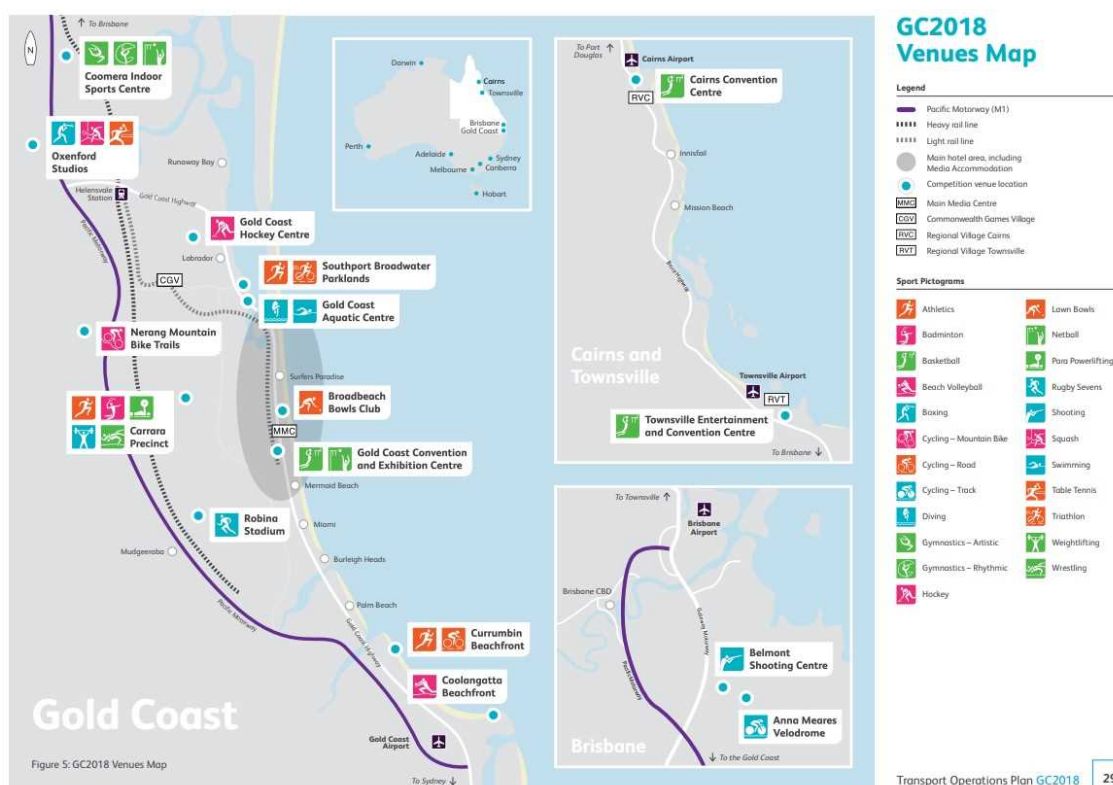
ゴールドコースト市ウェブサイト

< <http://www.goldcoast.qld.gov.au/thegoldcoast/commonwealth-games-24251.html> >

(Accessed 2019-03-12)

ゴールドコースト大会では、ゴールドコースト市のほか、ブリスベン市、タウンズビル市、ケアンズ市も地方会場として大会に関与した。ブリスベン市はクイーンズランド州の州都で、ゴールドコースト市の約 78 キロメートル北方に位置する。同市では射撃と自転車競技（トラックレース）が開催された。タウンズビル市及びケアンズ市では、バスケットボールの予選が開催された。タウンズビル市は北クイーンズランド最大の都市であり、人口は約 17 万人である。ブリスベン市の約 1,300 キロメートル北方、ケアンズ市の約 350 キロメートル南方に位置する。ケアンズ市はクイーンズランド州北部の都市であり、人口は約 14 万人である。ブリスベン市の北約 1,700km に位置し、世界自然遺産に登録されている世界最大のサンゴ礁地帯であるグレート・バリア・リーフ及び世界最古の熱帯雨林地帯（Wet Tropics of Queensland）の玄関口となる観光都市である。

(図表 2-2) 競技会場地図¹⁵



※ゴールドコースト大会公式サイト「2017年6月版公共交通運営計画」から引用

15 ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会、*Transport Operation Plan June 2017*, 2017年< https://gc2018.com/sites/default/files/2017-11/TPT_Transport_Operations_Plan_0.pdf > (Accessed 2019-02-24)

第2節 ゴールドコースト大会における競技

コモンウェルスゲームズにおける競技については第1章で触れたが、ゴールドコースト大会で実施された競技は、図表2-3のとおりである。ゴールドコースト大会における実施競技で特徴的であったのは、ビーチバレーボールがコモンウェルスゲームズ史上初めて採用されたことである。また、コモンウェルスゲームズ史上最も多くのパラスポーツ競技が実施されたことも特筆すべきことである。ゴールドコースト大会では、約300人に上るパラスポーツ選手が7競技にわたり38個のメダルを競った。前回大会である2014年グラスゴー大会と比較して、パラスポーツ選手の人数は45%、メダルの数は73%増加した¹⁶。

さらに、競技の実施に当たっては、男女平等（Gender Equality）の観点も重視された。ゴールドコースト大会は、コモンウェルスゲームズ史上初めて男子競技と女子競技それぞれのメダル数を同数とする大会となった¹⁷。また、コモンウェルスゲームズ連盟は、コモンウェルスゲームズ連盟クォータ制¹⁸として、必須競技及び選択競技に参加可能な選手数を4,300人としたうえで、必須競技に参加する選手数が3,800人、選択競技に参加する選手数が500人を超えないように定めている（なお、必須競技及び選択競技の参加可能選手数の変更は、コモンウェルスゲームズ連盟上級役員会（CGF Executive Board）の同意がある場合は可能である）。また、この枠内で、パラスポーツ選手のための参加可能選手数を最低でも300人とするよう定めている¹⁹。

¹⁶ コモンウェルスゲームズ2018年ゴールドコースト大会公式サイト

< <https://gc2018.com/the-sport/para-sports-program> > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト< <https://thecgf.com/our-relevance/para-sports> > (Accessed 2019-03-12)

¹⁷ 男子競技のメダルが133個、女子競技のメダルが133個、男女混合競技のメダルが9個であった。

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト< <https://thecgf.com/our-relevance/gender-equality> > (Accessed 2019-03-12)

¹⁸ クォータ制（quota system）とは、一般的には、雇用や議員選出などの際に、人員構成に偏りが出ないように、人種や性別、宗教、障がいの有無などの属性を基準に、一定の比率で人数を割り当てる制度をいう。

¹⁹ オブザーバープログラム配布資料に基づいて記述した。

(図表 2-3) ゴールドコースト大会競技一覧

	競技	競技種目	
必須	競泳	競泳、パラ競泳	
	陸上競技	陸上、パラ陸上、マラソン	
	バドミントン		
	自転車競技	ロードレース、タイムトライアル	
	ボクシング		
	体操	器械体操	
	ホッケー		
	柔道		
	ローンボウルズ	ローンボウルズ、パラローンボウルズ	
	ネットボール		
	7人制ラグビー		
	スカッシュ		
	卓球		
	トライアスロン		
	ウェイトリフティング		
	パワーリフティング	パラパワーリフティング	
レスリング	自由形		
選択	水泳	飛び込み	
	アーチェリー		
	卓球	パラ卓球	
	バスケットボール	3人制バスケットボール、車いす3人制バスケットボール	
	クリケット	トゥエンティ 20	
	トライアスロン	パラトライアスロン	
	自転車競技	マウンテンバイク	
		トラックレース、パラトラックレース	
	体操	新体操	
	射撃	クレ射撃、フルボアライフル射撃	
		10m エアピストル、10m エアライフル、25m ピストル、25m ラピッドファイアーピストル、50m ピストル等	
バレーボール	ビーチバレーボール		

※オブザーバープログラム配布資料より作成

第3節 ゴールドコースト大会実施に関わる各種計画

大規模スポーツ大会を開催するにあたっては、綿密な計画が必要になる。ゴールドコースト大会開催にあたっては、様々な計画が策定された。クイーンズランド州政府、ゴールドコースト市、オーストラリアコモンウェルスゲームズ協会が協働して策定した大会のコンセプトを定めるゴールドコースト大会マスタープラン (master plan)、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会が策定した実施競技を定めるスポーツプログラム (sports program)²⁰、競技会場の整備にかかる競技会場マスタープラン (venues master plan) などが策定された。また、ゴールドコースト大会を契機に都市を整備し、将来にわたって地域活性化などにつなげることを目標にしたレガシープログラム (Legacy Program)、公共空間改修計画 (Public Domain Improvement Projects)²¹、投資を呼び込んでクイーンズランド州の経済を活性化させることを目指すトレード 2018 (Trade 2018 Games Time Trade and Investment Program)²²、大会開催期間中に競技開催各都市で来場者を楽しませつつ各都市の魅力をアピールすることを目的とするフェスティバル 2018 (Festival 2018) などが策定・実施された。

第4節 オブザーバープログラム

ゴールドコースト大会前日の 2018 年 4 月 3 日から大会が終了する 4 月 15 日までの間、コモンウェルスゲームズやその他の大規模国際競技大会の招致及び運営に関心のある関係者や、観光やイベント関連の機関や政府関係機関などを対象に、同大会を開催するにあたっての準備や運営を学ぶ機会として、コモンウェルスゲームズ連盟等が主催するオブザーバープログラムが開催された。

本プログラムには、次回 2022 年大会の開催地であるイギリスのバーミンガム市や 2018 年 8 月から 9 月にかけてインドネシアのジャカルタ市及びパレンバン市で開催されたアジア競技大会といった大規模スポーツイベントの開催関係者の他、国や地方自治体の観光部署の職員、シドニーオリンピックパーク局 (Sydney Olympic Park Authority)、ネットボールなどゴールドコースト大会で実施された競技のオーストラリ

²⁰ スポーツプログラムの定める内容については、第 1 章及び本章第 2 節参照。

²¹ 競技開催各都市における、遊歩道の整備など比較的小規模な公共空間の改修を実施する計画を指す。

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイト

< <http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/infrastructure/projects/public-domain-improvement-projects.html> > (Accessed 2019-03-12)

²² コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト<

<http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/trade-2018.html> > (Accessed 2019-03-12)

ア国内の競技団体の関係者らも参加していた。オブザーバープログラムは、座学による講義と会場視察が組み合わされたものであった。大規模国際競技大会の運営に関する知見を日本の地方自治体関係者等に役立てていただくことを企図して、筆者は大会開催期間中の様子を調査するため、会場視察を中心に同プログラムに参加した。本稿では、同プログラム参加を通じて学んだ事項とともに、公表されているゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会の年次報告等から一部情報を補完し、ゴールドコースト大会の運営について報告するものである。なお、特に脚注のない記載については、オブザーバープログラムで聴講した内容に基づいて記述していることをあらかじめお断りしておく。

第3章 オブザーバープログラム—座学編

第1節 ゴールドコースト大会マスタープラン

2008年8月22日に、クイーンズランド州首相のアンナ・ブライ (Anna Bligh) は、コモンウェルスゲームズ2018年大会のゴールドコースト市への招致の意思表明をした²³。クイーンズランド州政府、ゴールドコースト市及びオーストラリアコモンウェルスゲームズ協会は協働して準備を進め、2010年3月31日に、正式にコモンウェルスゲームズ開催都市として立候補することを発表した²⁴。

開催都市として立候補する都市は、コモンウェルスゲームズ連盟が作成した「2018年コモンウェルスゲームズ立候補都市マニュアル」(2018 Commonwealth Games Candidate City Manual) に沿って、「コモンウェルスゲームズ立候補都市ファイル」(Candidate Files, 通称「bid book」) を作成し、2011年5月11日までにコモンウェルスゲームズ連盟に提出する必要がある²⁵。クイーンズランド州政府及びゴールドコースト市は220ページに及ぶ「コモンウェルスゲームズ立候補都市ファイル」を作成し²⁶、2011年5月11日にマレーシアのクアラルンプール市でコモンウェルスゲームズ連盟に提出した。その後、コモンウェルスゲームズ連盟による「コモンウェルスゲームズ立候補都市ファイル」に対する評価や立候補都市への視察が実施された。2011年11月12日にカリブ海のセントキッツ・ネイビスで開催されたコモンウェルスゲームズ連盟総会で立候補都市はプレゼンテーションを行い、その後、開催都市を決定する投票が実施され、ゴールドコースト市が開催都市として選ばれた。

この一連の手続きの中で、ゴールドコースト大会のコンセプトを表現するゴールドコースト大会マスタープランが示された。ゴールドコースト大会マスタープランにおいては、①既存施設の利用、②既存の公共交通と計画中の公共交通の整合性に留意すること、③レガシー、④開催地の課題解決に資する開発計画、⑤大会後の選手村の住宅としての供給、⑥開催地の観光地としての魅力の訴求、⑦極力近接した地域での競技会場の設置

²³ ABC NEWS, *Gold Coast to bid for 2018 Commonwealth Games*,

< <https://www.abc.net.au/news/2008-08-22/gold-coast-to-bid-for-2018-commonwealth-games/2575632> > (Accessed 2019-03-12)

²⁴ ABC NEWS, *Gold Coast launches formal bid for 2018 Commonwealth games*

< <https://www.abc.net.au/news/2010-03-31/gold-coast-launches-formal-bid-for-2018/388130> > (Accessed 2019-03-12)

²⁵ コモンウェルスゲームズ連盟、*2018 Commonwealth Games Candidate City Manual*, 2011, pp.12< <https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/2018-Candidate-City-Manual.pdf> > (Accessed 2019-03-12)

²⁶ *2018 Gold Coast City Candidate File Volume 1*< https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Gold_Coast_VOL_1.pdf >, *Volume 2*< https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Gold_Coast_VOL_2.pdf > (Accessed 2019-03-12)

が7つの柱とされた。これらの7つの柱に沿う形で、コモンウェルスゲームズ運営におけるコスト削減や開催地であるゴールドコースト市の課題解決や経済の発展を目指して大会の計画及び運営が行われた。

ゴールドコースト市はオーストラリアを代表する観光地であり、人口 663,321 人²⁷を抱えるオーストラリア第6の都市となっている。近年、ゴールドコースト市の人口は平均で年に 14,000 人増加しており、あらゆる面でインフラ増強が求められる状況にある。ゴールドコースト大会後に選手村を住宅として供給することにより、人口流入に伴う住宅需要の増加に対応するため、将来を見据えた計画立案が必要であると認識された。公共交通の整備にあたっては、都市の成長を考慮して、既存の公共交通と計画中の公共交通の整合性に留意することで効率的なインフラ投資とすることが意識された。競技会場の整備は、既存の会場を活用することでコストを抑えつつ、競技施設に対する地域住民らの将来の需要などを予測して整備することで、価値のある資産つまりレガシーとすることが目指された。

ゴールドコースト市の伝統的な産業といえば建設業と観光であるが、スポーツツーリズム、芸術、映画やコンピューターゲームなど知的財産権を有する作品に関わる創造産業、教育、健康、医療及び情報技術などといった分野の産業の育成にも力を入れている²⁸。こうした新しい産業を発展させるための開発計画として、選手村の整備と併せて後述するゴールドコースト保健・知識集積地区（Gold Coast Health & Knowledge Precinct）開発計画が策定された。

第2節 競技会場の整備

1 競技会場の整備－会場が充たすべき要件

国際競技大会においては、競技ごとの国際競技連盟が、観客収容数やコースの仕様といった、会場施設が充たすべき要件を定めている。コモンウェルスゲームズにおいては、競技会場が充たすべき要件をコモンウェルスゲームズ連盟が定めており、要件を充たさない既存の施設を利用する場合は、要件を満たすよう改修などで対応（アップグレード）する必要がある。

競技会場を整備するにあたっては、収容可能な観客数も考慮する必要がある。観客収

²⁷ .id consulting pty ltd, *The 50 largest cities and towns in Australia, by population 2018 update* < <https://blog.id.com.au/2018/population/population-trends/the-50-largest-cities-and-towns-in-australia-by-population-2018-update/> > (Accessed 2019-01-30)
オーストラリア統計局、*3218.0 - Regional Population Growth, Australia, 2016-17, Population Estimates by Significant Urban Area (ASGS 2016), 2007 to 2017*< <http://www.abs.gov.au/AUSSTATS/abs@.nsf/DetailsPage/3218.02016-17?OpenDocument> > (Accessed 2019-01-30)

²⁸ ゴールドコースト市ウェブサイト< <http://www.goldcoast.qld.gov.au/business/gold-coast-industries-588.html> >(Accessed 2019-01-30)

容数については、コモンウェルスゲームズ連盟がガイドラインを定めている。コモンウェルスゲームズ連盟の定める最低観客収容数²⁹を踏まえたうえで、開催都市は、その地元や開催国における各競技の人気、チケット販売予想、既存施設の観客収容数及びオーバーレイ³⁰により増設可能な座席数を考慮して、各競技会場の観客収容数をコモンウェルスゲームズ連盟に提案することとされている。今大会の観客収容数は図表3-1及び図表3-2のとおりである。なお、数字は概数であり立見席は含まれていない。

(図表3-1) 観客収容数(必須競技等)

競技	競技種目	観客収容数
開会式・閉会式		40,000
競泳	競泳、パラ競泳	5,000
陸上競技	陸上、パラ陸上	40,000
陸上競技	マラソン	1,000
バドミントン		2,500
自転車競技	ロードレース、タイムトライアル	1,000
ボクシング		3,000
体操	器械体操	7,500
ホッケー		5,000
柔道		2,500
ローンボウルズ	ローンボウルズ、パラローンボウルズ	2,500
ネットボール(予選)		2,500
ネットボール(決勝)		5,000
7人制ラグビー		10,000
スカッシュ		2,500
卓球		2,500
トライアスロン		2,000
ウェイトリフティング		2,500
パワーリフティング	パラパワーリフティング	2,500
レスリング	自由形	2,500

※オブザーバープログラム配布資料より作成

²⁹ オブザーバープログラム配布資料によると、例えば、7人制ラグビーでは最低観客収容数は10,000人とされている。

³⁰ オーバーレイ(Overlay)とは、施設の利用目的に合わせてフェンスやゲート、テントなど様々な仮設物を設置する場合の、仮設物の総称をいう。

(図表 3-2) 観客収容数 (選択競技)

競技	競技種目	観客収容数
水泳	飛び込み	2,500
アーチェリー		2,500
バスケットボール	3人制バスケットボール、車いす3人制バスケットボール	5,000
クリケット	トゥエンティ 20	20,000
自転車競技	マウンテンバイク	1,000
	トラックレース、パラトラックレース	4,000
体操	新体操	3,000
射撃	クレー射撃	1,000
	10m エアピストル、10m エアライフル、25m ピストル、25m ラピッドファイアーピストル、50m ピストル等	1,000
	フルボアライフル射撃	1,000
バレーボール	ビーチバレーボール	3,000

※オブザーバープログラム配布資料より作成

2 競技会場一整備の方針

ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会は、効率的な大会運営を実現するため、競技場を整備するにあたりコスト削減の観点から、既存施設の利用を意図して競技会場マスタープランを立案した(ゴールドコースト大会マスタープランにおける7つの柱の一つ①既存施設の利用に対応)。改修などアップグレードで対応することを優先し安易に新規施設を建設することのないようにしつつ、競技施設に関する将来の需要予測を織り込んで新規に建設した施設もある。

屋内競技用の施設の整備にあたっては、一般的に照明の設置やテレビ放送のためのケーブルの配線など検討すべきことが多い。また、コストを抑えるという観点から、競技会場としての要件を満たすことも考慮しつつ、どの競技をどの会場で実施するのがふさわしいかも検討する必要があることがオブザーバープログラムの中でも指摘された。前大会である2014年のグラスゴー大会では、ボクシング、柔道、レスリング、ネットボールの4競技を一つの施設で実施するため、競技の入れ替えを容易にできるよう会場設営に工夫がなされたとのことである。今大会でも、カララスポーツ・レジャーセンター(Carrara Sports and Leisure Centre)では、バドミントン、ウェイトリフティング、レスリング、パラパワーリフティングの4競技が実施された。

(図表 3 - 3) 競技会場一覧

種別	施設名	競技
新規競技会場	Coomera Indoor Sports Centre	体操、ネットボール (決勝)
	Carrara Sports and Leisure Centre	バドミントン、レスリング、ウェイトリフティング、パラパワーリフティング
	Queensland State Velodrome*	自転車競技 (トラックレース)
新規複合目的施設	Village Roadshow super sound stage 9	スカッシュ
アップグレードで対応した会場	Carrara Stadium	開会式、閉会式、陸上競技
	Carrara Indoor Stadium	ウェイトリフティング
	Gold Coast Aquatic Centre	水泳
	Gold Coast Hockey Centre	ホッケー
	Nerang Mountain Bike Trails	マウンテンバイク
	Broadbeach Bowls Club	ローンボウルズ
	Belmont Shooting Centre*	射撃
仮設会場 (オーバーレイ)	Southport Broadwater Parklands	マラソン、競歩、トライアスロン
	Gold Coast Convention and Exhibition Centre	ネットボール (予選)、バスケットボール (決勝)、メディアセンター
	Robina Stadium	7人制ラグビー
	Elanora / Currumbin Valley	自転車競技 (ロードレース、タイムトライアル)
	Cairns Convention Centre**	バスケットボール (予選)
	Townsville Convention Centre***	バスケットボール (予選)
	Oxenford Studios	ボクシング、卓球、スカッシュ
	Queen Elizabeth Park, Coolangatta	ビーチバレーボール

※*が付いている施設はブリスベン市に、**が付いている施設はケアンズ市に、***が付いている施設はタウンズビル市に所在する。

※オブザーバープログラム配布資料より作成

3 競技会場の整備－進行管理

会場を整備するクイーンズランド州政府やゴールドコースト市とゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会とは、会場整備の実施における役割分担を明確にして事業を進めた。クイーンズランド州政府やゴールドコースト市は大会後の会場の価値（いわゆるレガシー）について検討すること、プロジェクトマネジメントの手法を用いてプロジェクト全体を管理監督すること、設計・工事及び許認可等について責任を負い、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会はコモンウェルスゲームズ連盟の定める規定の確認、コモンウェルスゲームズ連盟等関係機関との連絡調整、会場を整備するクイーンズランド州政府やゴールドコースト市と協調して事業を進めることについて責任を負うこととした。

会場の整備にあたっては、進行管理が重要であり、適切に進行管理するにはタイムフレームが不可欠であることがオブザーバープログラムで繰り返し指摘された。会場整備の進行管理については、主としてクイーンズランド州政府やゴールドコースト市が責任を負い、大会開催の7年前から会場整備に向けた検討が開始された。

(図表3-4) 会場整備及びオーバーレイ設営のタイムライン

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
実施計画の策定							
プロジェクト概要書の作成							
主要会場の設計及び工事							
オーバーレイを利用する区域の確定							
オーバーレイの設計							
オーバーレイの資材調達							
オーバーレイの工事							

※水色は会場整備の、クリーム色はオーバーレイの設営のプロセスをあらわしている。

※オブザーバープログラム配布資料より作成

実施計画策定が終了し大会の準備が進展するに従い、新たに従業員を雇用したり施工業者が現場に出入りしたりするようになるなど、大会運営に関与する人数は増加する。その中で、競技会場マスタープランの実施段階からプロジェクトに参加した者の中には、プランの変更を主張する者が現れることもある。プランの変更が必要なこともあるため提案を一概に否定することはできないが、プランの変更は一般的にコスト増を招くため、コスト管理の面から、当初のプランを維持して進めることが肝要であるとの指摘がなされた。もっとも、変更が必要な場合は、そのためにプロジェクトが遅延しないよう注意を払う必要がある。他方で、タイムフレームを短く設定しすぎると休日出勤が必要にな

り、コスト増につながることに留意しなければならないと注意が促された。

4 オーバーレイ

オーバーレイの設計・設置に関しては、3つの重要な段階がある。第一段階では、競技会場設営者はコモンウェルスゲームズ連盟の定める大会実施のために充たすべき要件を確認し、オーバーレイの設置が必要な部分を明確にすることが重要であると強調された。この段階では、モデルケースとなる会場を定め、実施計画の方針を立てるなどする。第二段階では、オーバーレイを設計する。第三段階では、オーバーレイを設置する。建設工事の許認可などもこの段階に含まれる。オーバーレイの設計には、資材の調達、許認可、工事といった一連の工程に必要な適切な時間を確保することも含まれることに留意する必要があるとの指摘がなされた。

オーバーレイの設置には、経験豊富なサプライヤーの協力が不可欠である。また、資材調達や契約の管理、経費の見積もり及びコスト管理、進捗管理、工事従事者の健康及び安全管理、危機管理などにも留意してオーバーレイの設置計画を策定しなければならない。柵や座席などのオーバーレイの資材から自前で設計してサプライヤーに特別注文すると、膨大なコストがかかることになる。そのため、オーバーレイを設計する初期段階で、サプライヤーの既存モデルの資材を利用することを前提にオーバーレイを設計することが重要になるとの指摘がなされた。オーバーレイの設計にあたり、内部の人材で設計をするのか外部のコンサルタントのサポートを得るのかも検討が必要である。また、多数のステークホルダーが関与するため、関係者間でタイムラインを共有しておくことは、効果的な進捗管理に役立つ。これらに加えて、関係者が完成後のイメージを共有しておくことの重要性も強調された。

(図表3-5) オーバーレイのタイムライン

	2015	2016	2017	2018
オーバーレイの計画及び設計	クリーム色			オレンジ色
オーバーレイの資材の調達			クリーム色	
許認可			緑色	
オーバーレイの工事（選手村等）			クリーム色	
オーバーレイの工事（競技会場）				クリーム色
オーバーレイの撤去				オレンジ色

※クリーム色はオーバーレイの設計を、オレンジ色は、オーバーレイの計画及び設計については新たな変更を極力加えない最終段階であることを、オーバーレイの撤去についてはオーバーレイ設置が完了し大会後にそれらを撤去することを、それぞれあらわす。

※オブザーバープログラム配布資料より作成

今大会では、オーバーレイとして延べ 45,000 平方メートルに及ぶ 500 基のテント、6,100 席の観覧席、800,000 台のディーゼル発電機、50 キロメートルの仮設フェンス、15 キロメートルに及ぶ柵、350 基のコンテナ、270 台のプレハブ小屋、2,300 基の放送用照明設備、200 基の仮設電信柱、530 基の仮設トイレ及び 170 基の小便器が設置された。

(図表 3-6) オーバーレイの例



仮設電信柱



仮設フェンス



飲用水



休憩所



救護所



放送用車両

第3節 選手村の整備

1 選手村の概要

選手村は、6,600人に及ぶ選手と関係者が滞在する施設である。コモンウェルスゲームズ連盟は大会運営マニュアルに選手村が充たすべき要件を定めており、例えば予備の部屋や一人用の部屋を含めて、ベッドは6,500台用意すべきこと、浴室の数とベッドルームの数の比率、一人用や二人用の部屋の広さの最低基準などを明記している。今大会においては、29ヘクタールに及ぶ敷地に選手村が整備され、1,170室のアパートメントと82件の戸建てタイプの住宅が建設された。

2 選手村の整備方針

選手村の整備にあたっては、大会期間中の利用及び大会後の利用の双方を考慮して計画を立てることが重要であるとの説明があった。

大会期間中の利用については、選手の身体への負担の軽減の観点から、競技会場までの移動時間が60分以内になる場所が選定された。もちろん、ゴールドコースト市以外の都市にも会場があるため、ゴールドコースト市内の選手村から移動に60分以上かかる会場も存在する。このような場合は、選手の移動時間が60分以内となるよう、地方会場近辺に別途選手村を整備した（Regional Village）。なお、選手村と競技会場との移動時間を短くすることは、輸送及び警備の手配にかかる負担の軽減やコスト削減にもつながる。また、大会期間中の選手村は単なる住宅ではなく、入居する選手たちの活動も考慮に入れた仕様にする必要があるとの指摘がなされた。たとえば戸建てタイプの住宅については、内装の壁を取り外しが容易なものにしておき、大会後に間取りを変更できるように設計した。大会期間中はチームでのミーティングがしやすいよう部屋を細かく仕切らないという配慮もなされた。

住宅地には不要であっても、大会期間中に必要となる施設については、オーバーレイで対応した。選手らが選手村に到着後、入居などの各種手続をするウェルカムセンター、診療所、ジムといった施設、受付や救護所などに利用された延べ面積9,500平方メートルに及ぶテント、カフェなどに利用された40台の仮設施設（キャビン）、80基の移動式トイレなどが設置された。選手らが日用品などを購入する店舗などからなる6,000平方メートルの広さの商業地域も整備された。選手村のオーバーレイについては、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会が担当した。

選手村には、2,200席の食堂も設置された。食堂はセルフサービスのビュッフェ形式であった。西洋料理だけでなくアジア料理やハラール料理といった多種多様なメニューが用意された。このほか、アレルギーやグルテンフリーといったダイエタリー、競技ごとに異なる積極的に摂取すべき栄養分、疲労回復、選手らの文化や宗教、受けている治療

などに配慮した食事が、1日に18,000食以上提供された。大会期間中には、121,000本のバナナを含む800,000個の果物が提供された。

大会後の利用という点については、ゴールドコースト市の人口増加に伴う住宅需要の高まりを背景に、選手村を住宅として供給することが計画された（ゴールドコースト大会マスタープランにおける7つの柱の2つ、④開催地の課題解決に資する開発計画、⑤大会後の選手村の住宅としての供給に対応）。計画立案に際しては、選手村を住宅として供給すると地域の不動産市場に影響を与えることも考慮された。

3 ゴールドコースト保健・知識集積地区開発計画

また、選手村は単に住宅として計画されただけではなく、地域の課題解決や地域経済の発展に資するものにするという観点から、クイーンズランド州政府による、200ヘクタールに及ぶゴールドコースト保健・知識集積地区（Gold Coast Health & Knowledge Precinct）整備の一部として計画が進められた。選手村の周囲にはグリフィス大学（Griffith University）のキャンパス、ゴールドコースト大学病院（Gold Coast University Hospital）、ゴールドコースト私立病院（Gold Coast Private Hospital）が建設されており、大会後に9.5ヘクタールの商業エリアの開発が始まっている。前述のとおり、ゴールドコースト市は健康や医療に関する産業の育成に取り組んでいる。ゴールドコースト保健・知識集積地区は、12,400の新たな職を生み出すと予想されている。これら新たな職は、26,000人以上のフルタイム労働者による労働価値に相当する高い労働価値を生じさせると推計されており、地域産業の発展及び雇用の拡大に資する計画であるといえる。

(図表 3-7) ゴールドコースト保健・知識集積地区マスタープラン図面



※ゴールドコースト保健・知識集積地区マスタープラン 2016³¹から引用

ピンク色の部分が住宅地、オレンジ色の部分がクイーンズランド州保健省の施設

第4節 レガシー

1 レガシー創出に向けた取組

会場の設置計画を策定するに当たり、大会後の利用方法や地域に与える影響、いわゆるレガシーについても考慮することが求められる。ゴールドコースト市は2013年5月

³¹ クイーンズランド州政府、*GOLD COAST HEALTH & KNOWLEDGE PRECINCT Master Plan 2016*, 2016 < <https://www.dlgrma.qld.gov.au/resources/plan/gold-coast-health-knowledge-precinct.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

にレガシー諮問委員会 (Legacy Advisory Committee) を設置し、戦略的にレガシー創出に取り組むため、過去の大規模競技大会のレガシーについて調査を実施した。調査結果は、2本のレポートにまとめられている³²。同委員会は2014年5月に解散し、クイーンズランド州政府により2014年6月に設置された2018年大会諮問委員会 (Embracing 2018 Advisory Committee) に情報が引き継がれた。

大会準備にかかる初期の段階 (2009~2011年) では、既存施設の所在地及び状態を確認し、将来の屋内競技会場の需要の予測、スポーツやイベントに対する需要の見通しを立てた。中期 (2012~2016年) には、施設そのものだけでなく、競技会場周辺地区の整備の検討を開始した。新たな競技会場の検討や、競技場を一時的な施設で済ませるか恒久的な施設にするのかといったような具体的な計画策定及びその実施が進められた。後期 (2016~2018年) は、整備した会場を利用してプロモーションする段階と位置付けられ、大会前後の新しいイベントでの利用に向けた提案募集や国内外のスポーツチームのキャンプ誘致が実施された。競技会場を利用したプロモーションにあたって、クイーンズランド州政府及びゴールドコースト市は、競技会場を効率的に運用できるよう職員を柔軟に配置したり、競技会場の料金設定などのビジネスモデルを構築したり、必要なマーケティング調査を実施するなどした。また、競技会場の利点や経済効果の測定などが行われた。

ゴールドコースト市は、大きく分けて、地域住民への恩恵、経済的恩恵、知名度向上を目指してレガシー創出に取り組んだ。大会を通じて、地域住民がよりスポーツやイベントに参加すること、健康の増進、地域のスポーツチームの応援やボランティア参加を促すことを目指した。競技会場等の整備や競技会場の運営、競技大会やキャンプ誘致、映画の撮影、幅広い競技大会やイベントに関連する観光業などによる雇用の創出効果も見込まれた。ゴールドコースト保健・知識集積地区 (Gold Coast Health & Knowledge Precinct) 設置による雇用創出も、2018年大会のレガシーと捉えられている。2018年大会を成功させることで、ゴールドコースト市の競技大会やイベント運営能力が広く認知され、新たな国内外のイベントやトレーニングキャンプ誘致につながると期待されている。

³² ゴールドコースト市ウェブサイト <<http://www.goldcoast.qld.gov.au/2018-commonwealth-games-legacy-research-reports-25136.html>> (Accessed 2019-02-24)

2 カララスポーツ地区再開発³³

ゴールドコースト大会後も大会のレガシーとして末永く地域住民のイベントや競技大会の会場として機能する施設の建設を目指して、クイーンズランド州政府及びゴールドコースト市は既存のカララストジアム及びカララインドアスタジアム等のアップグレードに加え、カララスポーツ・レジャーセンター（Carrara Sports and Leisure Centre）の新設を含めたカララスポーツ地区再開発（Carrara Sports Precinct Project）を実施した。

カララストジアムのアップグレードの内容は、恒久的な照明設備を増設すること及び海外への放送が可能な設備を整備することで、予算は 700 万豪ドル³⁴であった。ゴールドコースト大会期間中は、オーバーレイによる観客席の増設及び選手らのウォーミングアップ用のトラックの整備等を実施した。

カララインドアスタジアムの改修は、地域の競技会場に対する将来の需要予測などを踏まえたうえで、施設がゴールドコースト大会後 20 年以上に渡り地域住民やイベント開催者らが求める水準を維持し利用され続けるよう計画された。予算は 800 万豪ドルで、観客席の増設、施設運営に関連する機器等テクノロジーに関わる部分の更新、内装及び外装の改修が実施された。

カララストジアム及びカララインドアスタジアムの南に面するサザンスポーツフィールド（Southern Sports Fields）には、サッカーやフットボール、学園祭など幅広い用途を持つ 3 つの新しいフィールドが整備されるとともに、野外照明設備、駐車場などの設備が設置された。予算は 600 万豪ドルであった。

カララスポーツ・レジャーセンターは、2015 年 2 月に着工し 2017 年 9 月に完成した、予算 1 億 100 万豪ドルで新設された施設である。複数の室内競技に対応できる 2 つのホール、更衣室をはじめとする設備、ミーティングや会合に利用できる部屋、カフェ、合計 5,350 席の観客席、460 台分の地下駐車場などを備えている。

³³ クイーンズランド州政府ウェブサイト

< <http://www.statedevelopment.qld.gov.au/index.php/component/mtree/gold-coast-2018-commonwealth-games/555-carrara-sports-and-leisure-precinct> >

< <http://www.statedevelopment.qld.gov.au/resources/factsheet/gc2018/carrara-fact-sheet.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

³⁴ 約 5 億 5,076 万円（1 豪ドル＝78.68 円）（2019 年 3 月 29 日現在、みずほ銀行公示仲値）

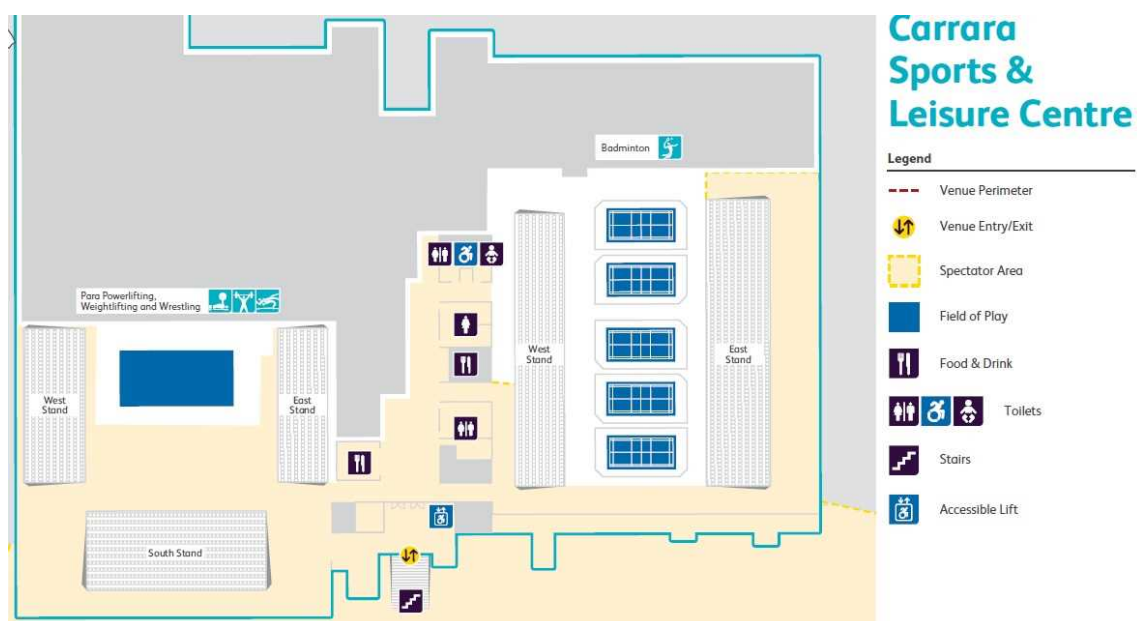
(図表 3-8) カララスポーツ地区再開発計画図



※カララスポーツ地区再開発ファクトシートより引用（脚注 35 参照）

①の部分がカララスポーツ・レジャーセンター

(図表 3-9) カララスポーツ・レジャーセンター平面図



※コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイトより引用³⁵

³⁵ コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト

< <https://gc2018.com/sites/default/files/2018-02/GC2018-Venue-Map-Carrara-Sports-Leisure-Centre.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

3 取組の効果

ゴールドコースト大会開催以前に、ゴールドコースト大会で使用される競技会場で129件を超えるイベントが開催され、5,000万豪ドル以上の経済効果がもたらされた。2018年4月時点で、大会後のイベントの予約は60件を超えていた。また、10か国から35チームが、精鋭選手のためのトレーニングキャンプをゴールドコースト市で実施し、300万豪ドル以上の経済効果がもたらされた。

2016年には、スポーツに関する情報提供やデータ分析、コンサルティングなどを業とするSBGカンパニーズ株式会社(SBG Companies Limited)主催のスポーツビジネス最優秀スポーツ都市賞(SportBusiness Ultimate Sports Cities Awards 2016)において、最優秀新規都市特別賞(The Special Awards to Best Newcomer)を受賞した³⁶。2017年には、国際祭典・イベント協会(International Festival and Events Association)主催の世界祭典・イベント都市賞(World Festival & Event City Award)を受賞しており³⁷、競技大会及びイベント開催地としてのゴールドコースト市の知名度は向上しているといえる。

第5節 チケット販売

ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会の担当者からの説明によると、本大会の競技や式典の観戦チケットは、座席の 카테고리やその価格、販売方法、発券方法に至るまで様々な組織が携わることから、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会のチケット管理部門とチケット販売や発券を行う代理店の責任範囲を決めて、販売された。チケットの配分については、「一般」、「大会スポンサー」、「コモンウェルスゲームズ協会(Commonwealth Games Associations。以下「CGAs」という)」³⁸、「その他」の4つに分類し、図表3-10のとおり配分するよう計画された。

³⁶ SBGカンパニーズ株式会社ウェブサイト

< <https://www.sportbusiness.com/2016/04/sportbusiness-ultimate-sports-cities-awards-2016-new-york-city-triumphs-at-sportaccord-convention/> > (Accessed 2019-02-24)

Linked in < <https://www.linkedin.com/pulse/sportbusiness-ultimate-sports-cities-awards-2016-new-york-church/> > (Accessed 2019-02-24)

³⁷ 国際祭典・イベント協会ウェブサイト

< <https://www.ifea.com/p/industryawards/worldfestivalandeventcityaward/pastrecipients> > (Accessed 2019-02-24)

³⁸ オーストラリアコモンウェルスゲームズ連盟等のコモンウェルス各国・地域における認定組織で、大会準備や選手の派遣等を行う。

(図表 3-10) チケットの配分計画

一般	スポンサー	CGAs	その他
80%	8%	8%	4%

※オブザーバープログラム配布資料から引用

また、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会のチケット販売計画では、「セレモニー」、「競技決勝」、「競技準決勝」、「競技予選」という分類を設け、それぞれに販売目標率を設定し、目標収益を達成すると同時に観客動員が最大化するよう、各競技観戦チケットの価格が設定された（図 3-11）。

チケット販売は図表 3-12 に示すとおり 6 段階に分けて行われ、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会がクイーンズランド州議会に提出した「2017-2018 年年次報告書」(Annual Report 2017-2018)³⁹によると、大会を通じて、観戦にチケットが必要とされる時間枠が 274 設定され、そのうち 215 の時間枠についてはチケットが完売した。また、販売を予定したチケット全体のうち 98%にあたる 120 万枚を超えるチケットが販売され、そのうち約 100 万枚は開催地であるクイーンズランド州及び隣接するニュー・サウス・ウェールズ州において販売され、チケット購入者は平均で 8 枚のチケットを購入したとされている。

³⁹ ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会、*Annual Report 2017-2018*, 2018, pp.17 < <https://gc2018.com/sites/default/files/2018-10/GOLDOC-Annual-Report-2017-2018.pdf> > (Accessed 2019-03-15)

(図表3-11) 各式典・種目毎のチケット価格

GC2018 TICKET PRICES	GOLD COAST 2018																							
	Prelim						Semi (Athletics Track & Field Final)						Final (Athletics Track & Field Super Final)											
	Cat A	Cat A Child	Cat B	Cat B Child	Cat C	Cat C Child	Cat D	Cat D Child	Cat A	Cat A Child	Cat B	Cat B Child	Cat C	Cat C Child	Cat D	Cat D Child	Cat A	Cat A Child	Cat B	Cat B Child	Cat C	Cat C Child	Cat D	Cat D Child
Aquatics Diving	\$60	\$30	\$40	\$20													\$100	\$60	\$30					
Aquatics Swimming	\$120	\$60	\$80	\$40	\$40	\$20											\$200	\$150	\$80	\$40				
Athletics Track & Field	\$80	\$40	\$60	\$30	\$20	\$10			\$120	\$80	\$40	\$20					\$150	\$100	\$60	\$30				
Athletics Marathon																								
Athletics Race Walk																								
Badminton	\$20	\$10							\$30	\$15							\$40	\$20						
Basketball	\$30	\$15							\$60	\$40	\$20						\$80	\$60	\$30					
Beach Volleyball	\$30	\$15							\$80	\$50	\$25						\$100	\$70	\$35					
Boxing	\$40	\$20	\$20	\$10					\$80	\$40	\$20						\$120	\$80	\$40					
Cycling Mountain Bike																	\$40	\$20						
Cycling Road Race																								
Cycling Time Trial																								
Cycling Track	\$120	\$60	\$70	\$35	\$50	\$25											\$175	\$120	\$70	\$35				
Gymnastics Artistic	\$60	\$30	\$40	\$20	\$20	\$10											\$90	\$60	\$40	\$20				
Gymnastics Rhythmic	\$40	\$20	\$20	\$10													\$60	\$40	\$20					
Hockey	\$40	\$20	\$20	\$10					\$70	\$40	\$20						\$100	\$60	\$30					
Lawn Bowls	\$20	\$10															\$40	\$20						
Netball	\$30	\$15							\$60	\$50	\$40	\$20					\$100	\$80	\$60	\$30				
Powerlifting																	\$30	\$15						
Rugby Sevens	\$40	\$20	\$30	\$15													\$100	\$60	\$30					
Shooting																	\$40	\$20						
Squash	\$20	\$10							\$30	\$15							\$40	\$20						
Table Tennis	\$20	\$10							\$30	\$15							\$40	\$20						
Triathlon																	\$40	\$20	\$30	\$15				
Weightlifting																	\$40	\$20						
Wrestling	\$20	\$10															\$40	\$20						
Opening Ceremony																	\$495	\$380	\$250	\$100	\$50			
Closing Ceremony																	\$350	\$250	\$150	\$70	\$35			

※オブザーバープログラム配布資料から引用

(図表3-12) 大会チケット販売の期間と販売チケット数等

	販売対象	販売期間	販売申込	販売実績	販売期間開始時の残チケット
1	スポンサー及びCGAs	2017年1月-2月	5万7,500	5万5千	
2	一般販売(抽選)	2017年4月-5月	120万	63万7千	
	抽選	2017年6月			
3	旅行会社等によるパッケージ商品	2017年7月-		4,500	
4	一般(先着)	2017年7月-		12万8,500	56万3千
	座席確定	2017年9月-10月			
5	一般(先着)	2017年11月-		26万4,500	43万4,500
6	開催期間中一般	2018年4月		11万以上 ⁴⁰	17万

※オブザーバープログラム配布資料より作成

40 ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会「2017-2018年年度報告書」からの推計値

オブザーバープログラムにおける講義では、発券において代理店でシステム及び人的双方の要因でエラーが発生したこと⁴¹や、この種の大規模イベントは世間の注目度が高く、発生したエラーが重大なものではなかったとしてもニュースになるため、メディア対応の準備が必要であること、コールセンターについては、問い合わせが予測された件数を超えたため対応に時間がかかったことなど、当初想定した水準のサービスを提供できなかったことが紹介され、改善すべき課題として認識しているとの見解が示された。また、推奨事項として、大規模なイベントはソーシャルメディアの影響を受けるようになってきていることから、チケット販売部門においてはソーシャルメディア対応に関する特別な知識があるスタッフも必要に応じて採用すること、チケット代理店との契約は一律に内容をそろえることなく、チケット代理店ごとに個別に契約内容を検討すること、チケット販売にかかる予算を過度に重視することなく、需要に応じたチケット価格を設定すべきであることが挙げられた。

第6節 運営従事者 (WORKFORCE)

同大会運営に携わる従事者は、「有給従事者 (Paid Staff)⁴²」、「ボランティア (Volunteers)」及び「業務請負事業者 (Contractor)⁴³」の3つに分類される。

大会運営にあたって、有給従事者は最大時に約 1,800 人、セキュリティ等の業務請負事業者は 3 万 5,000 人以上が携わったほか、多くのボランティアスタッフが大会運営に携わった。

2017 年 2 月、同大会のボランティアへの参加申し込みが開始されたが、募集人数を大きく超える約 4 万 7,000 人もの応募があり、大会には約 1 万 5,000 人が携わることとなった。

ボランティアスタッフには、

- ・大会期間前後（3 月 25 日から 4 月 18 日まで）の試合会場都市における公共交通機関を無料で利用可能
- ・ボランティア従事の際の食事やユニフォームの支給
- ・ボランティア従事最終日に記念品の贈呈を受けられる

といった特典が与えられ、これらはボランティアスタッフにとってモチベーションの向上に寄与しているとのことであった。また、同じ現場で働く雇用スタッフとボランティア

⁴¹ ABC, *Commonwealth Games organisers 'gutted' after 14,000 incorrect tickets sent* <<https://www.abc.net.au/news/2018-02-14/commonwealth-games-opening-ceremony-ticket-error/9444896>> (Accessed 2019-03-12)

⁴² コモンウェルスゲームズ開催のため、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会等に雇用され有給で働く職員

⁴³ シャトルバス運行やセキュリティチェック等、専門的な業務について委託された事業者及び職員

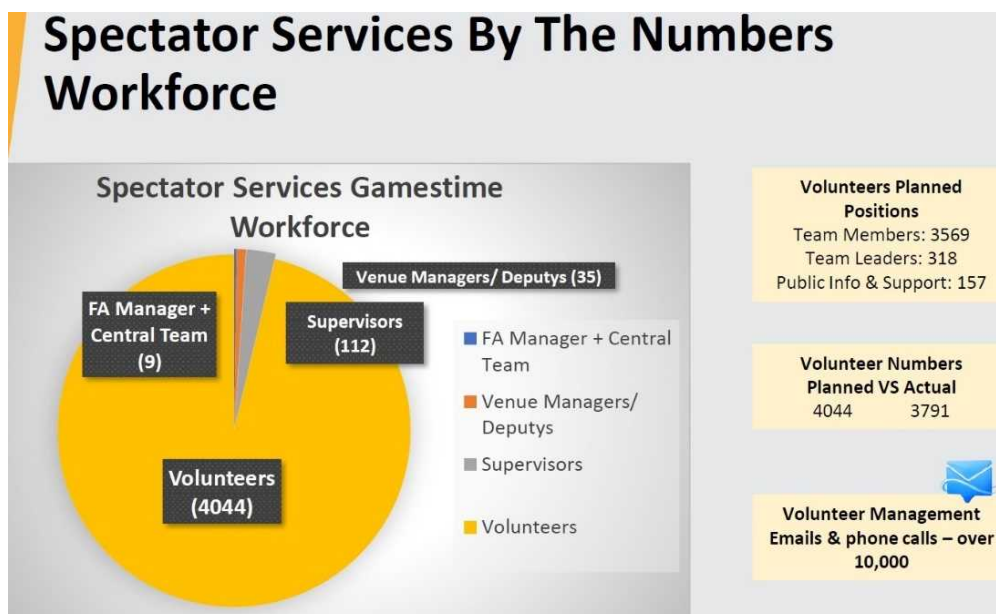
アスタッフが同じユニフォームを着用する場面も多く、現場における一体感を創出するとともに、着用するユニフォームのデザインを絞ることでコスト削減につなげているとのことであった。オブザーバープログラムに参加し会場を視察した際、ボランティアスタッフから誘導や会場における案内を受けることも多く、現場における責任者に指定されているボランティアスタッフからは、とてもやりがいを感じるとの声が聞かれた。

またオブザーバープログラムにおける、観客向けサービス (Spectator Service) についての説明では、観客向けサービスは約 120 万人のチケットを持つ観客だけでなく、およそ 30 万人のスポンサー関係者や他競技参加選手も対象であり、また、会場での観客の出迎え、誘導、チケット確認、遺失物処理等多岐にわたる観客向けサービスを実施したとの説明がなされた。ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会からの説明によると、全体で 4,200 人が従事する計画で、そのうちボランティアは 4,044 人 (実際のボランティア数は 3,791 人) であった。業務従事に先立ち、これらのボランティアスタッフに対し、47 のトレーニングセッションが 216 時間にわたり実施された。

(図表 3-13) ボランティアスタッフの勤務実績表と特典の一例



(図表3-14) 観客向けサービスに従事するスタッフ数



※オブザーバープログラム配布資料から引用

第7節 大会プロモーション及び観客の受入れ

グリフィス大学が2017年に発表した報告書⁴⁴によると、コモンウェルスゲームズの開催は市民の誇りとなるだけではなく、2010年の開催決定以来、約20億ドルもの投資がクイーンズランド州になされ、3万人の雇用を創出するとのことである。同大会開催に合わせた誘客プロモーションや観光客受入れのための対策については、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会やゴールドコースト市、クイーンズランド州政府等が協力し実施した。

宿泊に関しては、ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会、クイーンズランド観光局、ゴールドコースト市、ゴールドコーストツーリズム（Gold Coast Tourism Cooperation）⁴⁵、民間のマーケティング会社がともにワーキンググループを設置して、確保できる宿泊施設の部屋数等を管理し、大会運営サイドが確保していた宿泊施設についても段階的に観客宿泊用に提供していった。

プロモーション活動については、①各州及び国外からの視察の最大化、②各州及び国外からの訪問者の滞在期間や大会前後及び開催中の消費額の最大化、③観光やイベント

⁴⁴ Carlini, Joan and O'Neil, Andrew, *Gold Coast business and the Commonwealth Games: Impact, legacy and opportunity*, Griffith Business School, 2017, pp.1
<https://www.griffith.edu.au/__data/assets/pdf_file/0040/296599/gold-coast-business-and-the-commonwealth-games-report-20171.pdf> (Accessed 2019-03-14)

⁴⁵ ゴールドコーストの宿泊施設やテーマパークといった観光事業者からの負担金で運営される組織

の目的地としてのクイーンズランド州への意識や認識を高め、大会が潜在的に持つ利点の最大限の発揮という3点を主眼に行われた。テレビや雑誌とタイアップした広告宣伝を行ったほか、クイーンズバトンリレー⁴⁶に合わせ、リレー開催地におけるイベントやキャンペーンを実施した。

(図表3-15) ゴールドコースト大会開催に合わせ作成されたパンフレット(一部抜粋)



第8節 トレード2018 (Trade 2018 Games Time Trade and Investment Program)

ゴールドコースト大会の開催に合わせ、商業的な取組としてトレード2018というプログラムが実施された。トレード2018は、ゴールドコースト大会開催に関連した貿易投資プログラムで、イギリス連邦加盟国・地域間の貿易や投資による結びつきを強化し、クイーンズランド州の国際的な商業的価値を強化することを目的とするもので、7つの優先産業分野と7つの優先市場を定めて行われた(図表3-16)。トレード2018では、4月3日から約2週間の間に、30を超える様々な分野にかかるイベントがクイーンズランド州内で開催された。これらは、図表3-17が示すように、ゴールドコースト大会の主会場となったゴールドコースト市をはじめ、競技が開催されたブリスベン市、タウンズビル市、ケアンズ市を含むクイーンズランド州のさまざまな場所で行われた。また、大会期間外においても、優先市場に定めた国で、優先産業分野に関連する会議やフォーラムを開催したり、州内外からの視察団の受入れが行われた。

⁴⁶ Queen's Button Relay (QBR): コモンウェルスゲームズ開催にあたって実施された催しの一つで、エリザベス2世女王のメッセージをいれたバトンを、コモンウェルス各国を經由してオーストラリアまで運び、その後オーストラリア国内各地を100日かけて巡ったのち、開会式に届けるもの。

(図表 3-16) トレード 2018 における優先産業分野と優先市場

優先産業分野
健康 (Health and Knowledge)
国際教育 (International education and training)
食料・農業ビジネス (Food and agribusiness)
スポーツビジネス (The business of sport)
海洋技術 (Marine manufacturing and craftsmanship)
映画・テレビ番組制作 (Film and television production)
イノベーションと起業 (Innovation and entrepreneurship)
優先市場
カナダ
イギリス
インド
マレーシア
シンガポール
ニュージーランド
パプアニューギニア

(図表 3-17) 2018 年 4 月に開催されたトレード 2018 関連イベント⁴⁷

Table 1. Trade 2018 Games Time Trade and Investment Program – networking and showcase events and site visits

Trade 2018 Event	Date	Attendees ¹²
Tourism Investment Lunch*	3 and 14 April	168
Business Leaders Welcome Reception	3 April	159
The Commonwealth - Business Advantages and Opportunities	4 April	99
Queensland Economic Opportunities Breakfast	5 April	23
Global Entrepreneur and Investor Exchange	5 April	138
Film and Television Industry Roundtable	5 April	38
Gold Coast Health and Knowledge Precinct Showcase*	5 and 11 April	109
Food and Agribusiness Buyers Program	5 April	32
Retail Commerce Forum	6 April	83
The Value of Sport: Maximising Opportunities in the Commonwealth	6 April	111
Trade 2018 Event City Site Visits – Cairns	8-11 April	12
Trade 2018 Event City Site Visits - Townsville	7 April	3
HYPE Sports Innovation Accelerator – Global Pitch Event	9 April	133
Austrade FoodTech Mission: Queensland Government Briefing	9 April	24
FoodTech Innovation Forum	10 April	82
Queensland Health Capabilities	10 April	115
Queensland Opportunities in E-Health	11 April	77
Princess Alexandra Hospital Site Visit	11 April	22
Victoria Towers Site Visit	11 April	9
Canada Connect	11 April	54
Queensland and Commonwealth Collaboration and Showcase	12 April	111
Diversity for Global Business Growth	12 April	99
International Education and Training Agent Engagement Reception	12 April	100
Health Business Matching Program	12 April	39
Aged Care Program	12 April	24
Major Event Capability Business Forum	13 April	158
Queensland Research Institute Site Visits	13 April	31
Investing in Queensland Agribusiness (includes Aginvestor Briefing and Cocktail Reception)	13 April	85
India's Ascent and India Strategic Trade and Investment Roundtable	13 April	161
Marine Connections	13 April	58
Partnering with the Pacific	14 April	73
Business Leaders Closing Reception	15 April	81
Total attendances		2511

*Two different sessions were held for the Tourism Investment Lunch and GCHKP Showcase events across the Games-time program

¹²Attendee numbers as checked in to each event in the Events Air system. Some dignitaries and other officials were not required to be checked in upon arrival.

⁴⁷ クイーンズランド州政府、*Trade 2018 Evaluation Report*, pp.40

< <https://publications.qld.gov.au/dataset/gc2018-trade-2018-evaluation-report> > (Accessed 2019-03-13)

第4章 オブザーバープログラム—会場視察編

第1節 マウンテンバイク

マウンテンバイク競技会場視察では、コースを試走する選手がいる中、ゴールドコースト大会に向けた競技会場の設営について説明を受けた。

当該競技会場は、オフロードのマウンテンバイク用のコースと、オンロードの自転車競技用トラックを利用するもので、ゴールドコースト大会終了後は、それぞれに分けて運用するとのことであった。ゴールドコースト大会に向けておよそ 320 万豪ドルをかけて、国際標準を満たすマウンテンバイクコースの新設と、クラブハウスの改修や観客のアクセス改善等を含めたトラックのアップグレードが行われた。これらは、大会後も、地元のみならず観光客を含め多くの人に有効利用されることが期待されているとのことであった。

(図表4-1) マウンテンバイク会場の状況



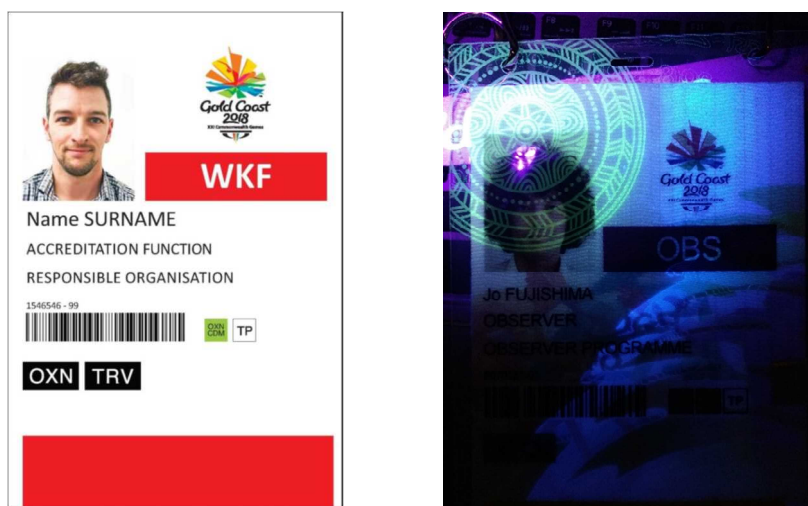
第2節 UAC

UAC とは Uniform and Accreditation Centre の略で、同大会では主に登録認証とスタッフへのユニフォームの引き渡しを行う会場となった。過去にホームセンターとして利用されていた施設で、約 1 万 2 千㎡の大きさを有している。

登録認証は、同大会へ参加する選手やコーチ等の関係者、運営に携わるスタッフ等の全ての関係者及び関係車両が行うもので、オブザーバープログラム参加者も漏れなく手続きを行い個別のパスを保持した。パスには、パス所持者の属性や立ち入ることができる場所についての情報が記載されており、オブザーバープログラム参加中の競技会場視察時は、会場に入るセキュリティゲートを通過する際、一人ひとりのバーコードが読み取られ、確認を受け

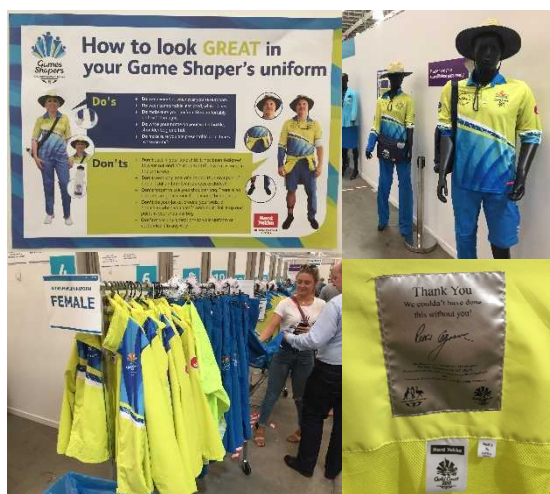
た。パスは、ブラックライトを照らすとホログラムが表示される仕様となっている。また会場や競技によってはゼッケンやベスト、アームバンド等が追加配布された。なお、このパスを提示することで、3月25日から4月18日までの間、会場都市の公共交通機関を無料で利用できた。

(図表4-2) 登録証の例



登録を終えたボランティアスタッフ等は、その後、同施設内でユニフォームを受領する。ユニフォームは合計約20万着が準備され、試着をして適切なサイズのユニフォームを受け取ることができる仕組みとなっていた。ユニフォームには、スタッフのモチベーション向上を企図して、ピーター・コスグローブ (Sir Peter Cosgrove) オーストラリア連邦総督からの感謝の意を示すメッセージが記載されたラベルが付されていた。また、オーストラリアは紫外線が強いことから、紫外線対策に関する説明もなされた。

(図表4-3) ユニフォーム受け渡し会場の様子等



第3節 マラソン

大会最終日に、ゴールドコースト海岸部（Southport Broadwater Parklands）をスタート・ゴール地点とするマラソン競技の視察を行った。本大会では、車いすマラソン競技とマラソン競技のスタート時刻が以下のとおり設定された（図表4-4）。全競技スタート後、コモンウェルスゲームズとは別の一般参加者によるマラソンイベント（ゴールドラン 2018、5キロメートル）が同じスタート・ゴール地点の設定により開催された。当該マラソンイベント参加者は 6,000 人を超え、またそろいの黄色のTシャツを着てイベントに参加しており、会場を黄色に染め、一体感を与えていた。一般参加者はゴールドラン 2018 終了後、現地に残ってコモンウェルスゲームズの選手に声援を送る姿が多くみられた。一般の参加者が参加できるイベントを併催することで、大会競技における沿道の観客増加に寄与していたと感じた（図表4-5）。

（図表4-4）マラソン関連競技予定

カテゴリー	スタート時刻	上位者ゴール 予想時刻
T54 Men's & Women's Wheelchair Marathon	6:10am -	7:35am
Women's Marathon	7:20am -	9:45am
Men's Marathon	8:15am -	10:25am
Gold Run 2018 Racing Wheelchairs	8:39am -	8:49am
Gold Run 2018 Runners	8:40am -	8:55am

※大会公式サイトより引用⁴⁸

（図表4-5）ゴールドラン 2018 終了後に、その一般参加者がコモンウェルスゲームズマラソン競技選手に声援を送る様子



⁴⁸ コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト
<<https://gc2018.com/venue/marathon>> (Accessed 2019-03-14)

第4節 カララスタジアム

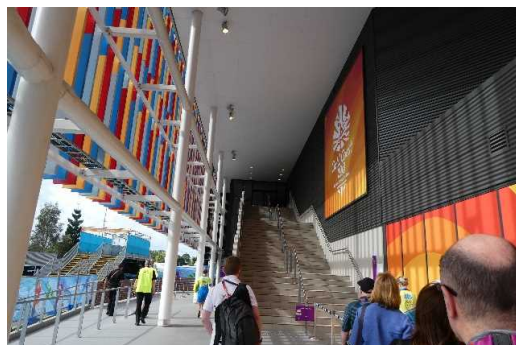
開会式・閉会式及び陸上競技の会場となったカララスタジアム（Carrara Stadium）を視察した（図表4-6）。

カララスタジアムは既存の施設をアップグレードした競技会場であり、コモンウェルスゲームズ連盟が定める競技会場が充たすべき要件に適合した施設とするため、照明器具の増設（アップグレード）やオーバーレイによる座席増設が施された。

（図表4-6）カララスタジアム



カララスタジアム外観



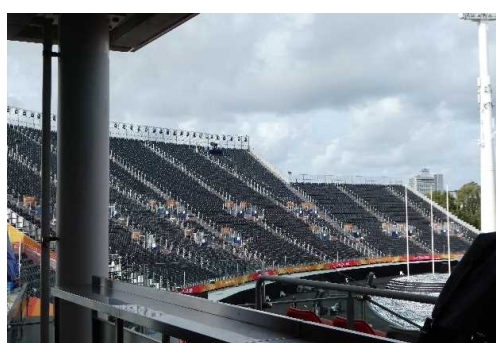
内部への入り口



受付



増設された観客席（オーバーレイ）



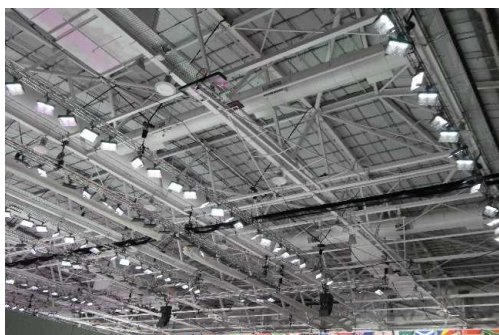
第5節 カララスポーツ・レジャーセンター

ゴールドコースト大会開催に合わせて建設された競技会場であるカララスポーツ・レジャーセンター（Carrara Sports and Leisure Centre）を視察した（図表4-7）。カララスポーツ・レジャーセンターでは、バドミントン、パラパワーリフティング、ウェイトリフティング及びレスリングが開催された。観客席の一部はオーバーレイによる仮設のものである。バドミンントンの会場では、照明を様々な方位に向けて設置することで試合中に選手が羽根を見失うことがないように細心の注意が払われた。また、空調設備についても、羽根の動きに影響を与えないよう配慮された。

（図表4-7）カララスポーツ・レジャーセンター

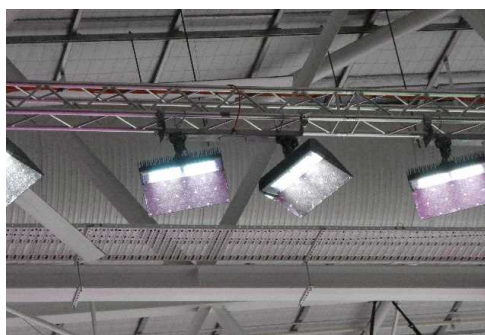


カララスポーツ・レジャーセンター外観



バドミントン競技会場の照明

照明が様々な方位に向けられていることがわかる。

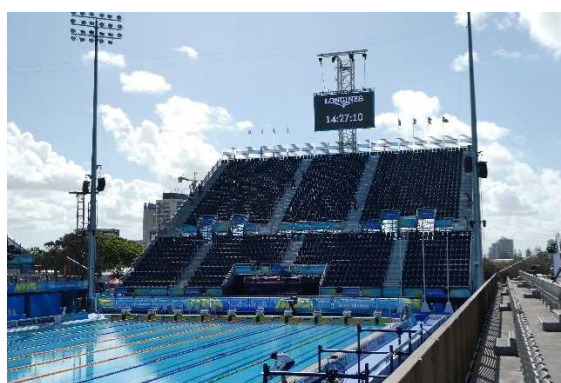


ウェイトリフティングの競技会場の様子

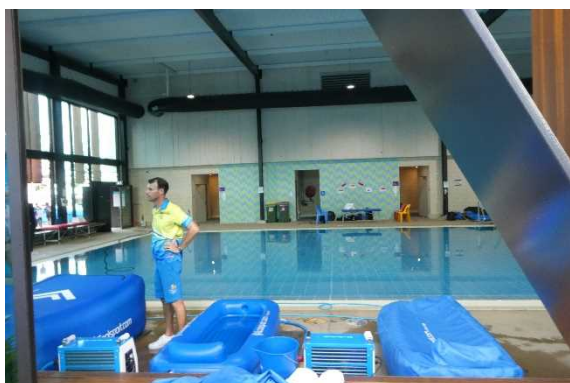
第6節 ゴールドコーストアクアティックセンター

ゴールドコーストアクアティックセンター（Gold Coast Aquatic Centre）は、アップグレード及びオーバーレイが施された競技会場である（図表4-8）。照明や大型のディスプレイが追加され、オーバーレイによる観客席が設置された。

（図表4-8）ゴールドコーストアクアティックセンター



競泳競技用プールに設置された仮設の観客席、照明及び大型ディスプレイ



ウォーミングアップ用のプール



報道陣のための部屋



オーバーレイによる観客席を外側から見た様子



(図表 4-8) の続き

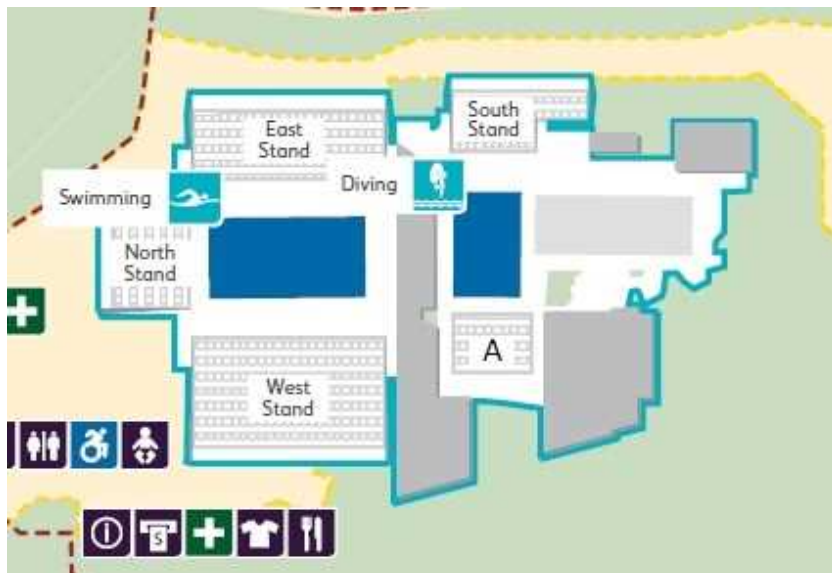


オーバーレイを施していない状態のゴールドコーストアクアティックセンターの様子。

手前のプールが競泳用のプール、中央左のプールが飛び込み用のプールである。

※ゴールドコーストアクアティックセンターファクトシートより引用⁴⁹

(図表 4-9) ゴールドコーストアクアティックセンター平面図



図表 4-8 と比較すると、左図の A の部分 (図表 4-8 でプールが設けられている部分) に仮設の観客席が設置されたことがわかる。

※ゴールドコースト大会公式サイトより引用⁵⁰

⁴⁹ クイーンズランド州政府ウェブサイト、*Gold Coast Aquatic Centre Factsheet* <<http://www.statedevelopment.qld.gov.au/resources/factsheet/gcac-fact-sheet.pdf>> (Accessed 2019-03-13)

⁵⁰ コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト <https://gc2018.com/sites/default/files/2018-02/venue-map-optus-aquatic-centre_0.pdf> (Accessed 2019-03-19)

第7節 ビーチバレーボール会場

ゴールドコースト大会において、コモンウェルスゲームズ史上、初めてビーチバレーボールが競技として採用された。ゴールドコースト市はオーストラリアを代表するビーチリゾート地であり、同競技の会場は同市屈指のサーフィンスポットであるクーランガッタビーチに設置された。まさに、開催地の観光地としての魅力を訴求するという目的を具現化したものといえる（ゴールドコースト大会マスタープラン7つの柱の1つ⑥開催地の観光地としての魅力の訴求に対応）。ビーチバレーボールの会場は完全な仮設会場であり、大会終了後にビーチは元の状態に戻るとのことである。

(図表4-10) ビーチバレーボール競技会場



競技会場の様子。観客席の背後にビーチがかすかに見える。



外観



観客席

第8節 選手村

選手村には広場やプール、カフェや屋台などもあり、選手らがリラックスして過ごせるようになっていた。また、携帯ショップや簡易ながらもスーパーマーケットがあり、生活面でも不便がないようにされていた。通信販売で取り寄せた品物を総合窓口で預かるというサービスも実施されており、高い利便性が確保されていた。

(図表4-11) 選手村



アパートメント型の宿舎



タウンハウス型の宿舎

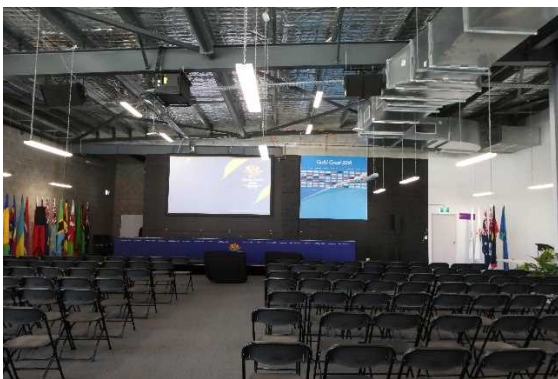


選手村の入り口





広場やカフェの様子



記者会見にも使用できる部屋



ジム。ほかにも、疲労回復、応急処置のための施設も設置された。



選手村に滞在する選手らの入居手続や各種相談に応じるコーナー



食堂の様子





ゲームコーナー



多様な宗教に対応した祈祷室



交番



スーパーマーケット



通信事業者のショップ



土産物店

第5章 ケアンズ市担当者へのインタビュー

大会の開催期間中、地方会場の視察として、男子・女子バスケットボールの予選ラウンドが行われたケアンズ市を訪問した。この訪問に際し、ケアンズ市の **Economic Development Officer** である **Belinda Hutchison** 氏へのインタビューの機会を得ることができ、市が大会にどのようにかかわっているか、また、大会が地域の国際化・活性化にどのような効果をもたらすのかということについて話を伺った。マスタープランの7つの柱の1つである⑥「開催地の観光地としての魅力の訴求」に関連した話題にも触れているので、以下、インタビューの内容を紹介したい。

ー ケアンズ市としては、今回のコモンウェルスゲームズをどう見ているか。

今回の大会はショーケースのようなものととらえている。大会の地方会場となったことは、ケアンズを世界に向けてアピールする、また様々な投資をケアンズに呼び込むチャンスだと思っている。ケアンズ市は、クイーンズランド州の州都であるブリスベンから遠く離れており、ケアンズ市と同じく観光が主要産業のゴールドコースト市と比べると、アクセスの面で不利な部分が多く、ケアンズまで足を運んでもらうための **PR** にもこれまで苦労してきた。今回、大会の地方会場となったことで、様々な国からの訪問団や観光客がケアンズにもやってきている。地域をあげてどのように受け入れるか、またどういう施設投資が必要かなどといったことを考え、実行することを通じて、この大会が地域の発展に寄与すると考えている。

ー 政府や、メイン会場があるゴールドコースト市とはどのような連携をしているか。

大会の運営にあたっては、連邦政府、州政府、地方自治体が協働しているが、地方自治体の立場からすると州政府と連携する場面が多い。基本的には州政府が大会運営全般にあたって大きな責任を負っており、地方自治体は会場での現場指揮などで州政府をサポートするというのが役割である。セキュリティについては州政府が担当している。その他、州政府は、我々が投資者の選定をする際の助言（提案）や、国際イベントの開催に向けたスタッフの訓練としてのプロトコル指導というようなことも行っており、そういう点で連携していると言える。

ゴールドコースト市との連携ということについては、州政府が地方自治体間の相互調整を行っているので、これといったものはないが、大会期間中、ゴールドコーストで行われている大会関連のイベントにケアンズ市のイベント担当者も参加しており、一緒になって大会運営をしているということだと思う。

— 州政府等と連携して国際イベントを開催するという事は初めての事か。

ケアンズ市を会場とするマウンテンバイクとトライアスロンの国際大会をこれまでも開催しており、開催にあたっては州政府と連携している。また、エルトン・ジョンのコンサートが行われた時も州政府と連携した。今大会では、これまでのノウハウを活かして運営にあっている。

— 市内でコモンウェルスゲームズの開催に合わせたイベントが行われているが、この運営はケアンズ市が行っているのか。イベントの内容も子供向けのものだったり、観光客に対して伝統文化を紹介するものであったりと様々だが、どのように構成を決めているのか。

実際の運営はケアンズ市が行っているが、どういったパフォーマンスを行うかということについては州政府とも協議をしながら決定した。ケアンズ市を拠点としているミュージシャンによるライブパフォーマンス、アーティストによるアート作品の展示などにより、ケアンズの芸術性の高さをPRするとともに、市内観光の中心地であり、観光客の多いエリアであるエスプラネードラグーンにおいて、家族向けのパフォーマンスやパブリックビューイングのためのスクリーンを設置した。また、ケアンズの歴史を伝えるミュージカルも行うことにしており、様々な角度から、様々な年代の人たちに対してケアンズをPRすることをコンセプトとしている。

— 地域住民に大会運営に参加してもらう方法としてボランティアの募集などが考えられると思うが、どういった取組を行っているか。

地域住民の参加としては、まさにボランティア募集というのが最も良いと思っている。ボランティアの募集は州政府ではなくケアンズ市が行っており、それぞれのボランティアの役割の決定、配置、また事前研修等もケアンズ市が行っている。州政府より、地方自治体の方が、ボランティアとして働く人たちのことをよく知っているからというのがその理由である。ボランティアの活用は幅広く、周辺イベントでの運営補助から、試合会場における取材場所での記者や選手の誘導等の対応まで行ってもらうこともある。

— 日本では、国際イベントを開催するたびに英語教育のさらなる強化といったようなことが議論となるが、そういう社会や住民のマインドを変えるという意味で、コモンウェルスゲームズをどう見ることができると考えるか。

こうした国際イベントをケアンズで開催できたということ自体が、ケアンズ市役所にも住民にも大きな自信をもたらすと考えている。先ほど言ったとおり、州都から離れた地域であることから、ハイレベルなパフォーマンスが難しいことがあるのも事実だが、そういう中で、地方会場とは言え大会運営を行えたという実績が重要だと考えている。もともとケアンズは観光客の多い地域で、多いときは市内にいる人の50～70%の人が観光客であることも

あるため、前々から外部からやってきた人たちへのポジティブな姿勢は持っていたが、大会に出場する選手やチームの関係者の受入れには、これまでとは違う対応が必要な場合もあり、ホスピタリティの向上や、選手等との交流の機会そのものも重要な財産になると考えている。そういう意味で、住民にボランティアとして大会運営にかかわってもらうことは、地域や住民のマインドの国際化という点で非常に良いことだと考えている。

また、クイーンズランド州北部地域のスポーツと文化の中心としてケアンズ市を発展させるという市の方針からすると、様々なスポーツ会場としてケアンズが選ばれ、試合を見た人たち、特に子供たちが将来そのスポーツに興味を持ち、選手やチームスタッフとして活躍してくれることも期待している。そして、このことが地域のより一層の発展に寄与すると考えている。

ー コモンウェルスゲームズに最も期待することは何か。

大会がもたらすものには、コミュニティに対するものもあれば、経済発展に関するものもあるため、一つを挙げることは難しいが、自分の担当分野からすると、この機会にできるだけ多くの投資を呼び込むということが最も重要と考えている。大会の開催期間中に実施されているトレード 2018（第3章第8節参照）の中で、大会に参加する英連邦の国々との商談やネットワーク構築をする機会が設けられている。こうした機会を活かし、この大会を通じてケアンズを世界に向けてPRし、大会後も更なる投資を呼び込めるようにしたいと考えている。

おわりに

本稿では、2018年4月4日から同月15日までの12日間、オーストラリア・ゴールドコースト市を中心にクイーンズランド州内全4都市で開催されたコモンウェルスゲームズ2018年ゴールドコースト大会の概要と、ゴールドコースト大会マスタープランをはじめとする大会運営にかかる各種計画、大会の運営方法、大会と関係する経済交流施策について述べた。

コモンウェルスゲームズ2018年ゴールドコースト大会は、70の国・地域の代表が参加した大規模国際スポーツ大会であり、また、パラスポーツ（障がい者スポーツ）の試合も同時に実施された。

コモンウェルスゲームズ連盟等が主催したオブザーバープログラムには、今回のコモンウェルスゲームズの開催地として決定しているイギリスのバーミンガム市の関係者、2018年にインドネシアのジャカルタ市及びパレンバン市で開催されたアジア競技大会の関係者ら、オーストラリア国外からの参加もあり、こうした参加者らは、座学講義及び現場視察において、それぞれの事情に即した質問を説明者に対し行い、意見交換も行っていった。

本オブザーバープログラム参加を通じて、競技会場をはじめとする施設の整備と、当該施設等の大会後の活用に向けた計画、スタッフの雇用、ボランティアの確保といった大会運営のための取組そのものだけでなく、本大会を利用した誘客の取組や大会期間中に国外から関係者を集めて実施した経済イベントの開催等に関し、調査することができた。このような研修プログラムは、2017年にニュージーランドのオークランド市で開催されたワールドマスターズゲームズでも実施されており、開催地が進めてきた大会運営にかかるノウハウを、次に開催される大規模国際スポーツ大会等に活かすための取組として、非常に有意義なものであると考える。

ゴールドコーストにおける会場視察では、ボランティアが来場者に明るく話しかけ笑顔で手を振るなど、ボランティア自身がゴールドコースト大会を楽しんでいる姿が印象的で、ボランティア一人一人からホスピタリティを感じながら視察を行うことができた。

一日の研修が終了した後に宿泊先に戻ると、ゴールドコースト市街地でも、様々な催しが開催され、また、至る所で同じユニフォームを着用しているスタッフやボランティアだと思われる関係者が活動しており、街全体で大会を盛り上げているように感じた。

本稿については、現地においてオブザーバープログラムに参加して学んだことを中心に、関係者から聴取した内容、さらには、公表資料の内容を踏まえて、執筆した。

本稿が、今後、日本の地方自治体において企画運営される大規模スポーツイベントの参考となれば幸いである。

参考文献

第1章

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイト

< <https://gc2018.com/history-games> > (Accessed 2019-03-11)

Lennon, Troy, The Dairy Telegraph, *Anglo-Saxon festival become one of the biggest global sports events*, July 23, 2014 <

<https://www.dailytelegraph.com.au/news/nsw/anglosaxon-festival-became-one-of-the-biggest-global-sports-events/news-story/202a8d8b3e7ed4f67ddbcfff5b4832d6> > (Accessed 2019-03-11)

Moore, Katharine Elizabeth, *The concept of British Empire games: an analysis of its origin and evolution from 1891 to 1930*, The University of Queensland, January 1st, 1987

< <https://espace.library.uq.edu.au/view/UQ:350058> > (Accessed 2019-03-11)

Canada's Sports Hall of Fame, Canadian History and Society through the lens of Sport, *Webisode Robinson's Trunk* < <http://canadasports150.ca/en/british-empire-games-commonwealth-games/artefact-webisode-robinsons-trunk/38> > (Accessed 2019-03-11)

inside the games, *1930 – Hamilton*, <

<https://www.insidethegames.biz/articles/5248/1930-hamilton> > (Accessed 2019-03-11)

在日カナダ大使館ウェブサイト < https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/about-a_propos/timeline-chronologie.aspx?lang=jpn > (閲覧日 : 2019 年 3 月 11 日)

ジャージーコモンウェルスゲームズ協会 (Commonwealth Games Association Jersey) ウェブサイト <

<file:///J:/08%20%E8%AA%BF%E6%9F%BB/2018/4%E6%9C%88%E3%80%80Commonwealth%20games%20GC/%E3%82%B3%E3%83%A2%E3%83%B3%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%82%B9%E3%82%B2%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%BA%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/History-of-the-Games-1930-to-2010.pdf> > (Accessed 2019-03-11)

Canada's Sports Hall of Fame, Canadian History and Society through the lens of Sport, *1978 Commonwealth Games – Edmonton* <

<http://canadasports150.ca/en/british-empire-games-commonwealth-games/1978-commonwealth-games-edmonton/35> > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト <

<https://thecgf.com/games#commonwealth-games> > (Accessed 2019-01-28)

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト < <https://thecgf.com/about> > (Accessed 2019-01-28)

コモンウェルスゲームズ連盟 *Transformation 2022 The Commonwealth Games Federation Strategic Plan 2015 -2022*, 2015 <

https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Transformation-2022_updateJul15_0.pdf > (Accessed 2019-01-30)

Long, Michael, SportsPro, *Spending the wealth: How CGF Partnerships is attempting to modernise the Commonwealth games* <

<http://www.sportspromedia.com/from-the-magazine/commonwealth-games-cgf-partnerships-david-grevemberg-feature> > (Accessed 2019-03-11)

国際パラリンピック委員会<

<https://kotobank.jp/word/%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E3%83%91%E3%83%A9%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A-1611796> > (Accessed 2019-03-11)

第2章

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイト

< <https://gc2018.com/history-games> > (Accessed 2019-03-11)

クイーンズランド州政府ウェブサイト< <https://www.ditid.qld.gov.au/?a=201637> >

(Accessed 2019-03-12)

ゴールドコースト市ウェブサイト

< <http://www.goldcoast.qld.gov.au/thegoldcoast/commonwealth-games-24251.html> >

(Accessed 2019-03-12)

ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会、*Transport Operation Plan June 2017*, 2017 年< [https://gc2018.com/sites/default/files/2017-](https://gc2018.com/sites/default/files/2017-11/TPT_Transport_Operations_Plan_0.pdf)

[11/TPT_Transport_Operations_Plan_0.pdf](https://gc2018.com/sites/default/files/2017-11/TPT_Transport_Operations_Plan_0.pdf) > (Accessed 2019-02-24)

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイト

< <https://gc2018.com/the-sport/para-sports-program> >(Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト< <https://thecgf.com/our-relevance/para-sports> > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ連盟ウェブサイト< <https://thecgf.com/our-relevance/gender-equality> > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会公式サイト

< [http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-](http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/infrastructure/projects/public-domain-improvement-projects.html)

[0215/www.embracing2018.com/infrastructure/projects/public-domain-improvement-projects.html](http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/infrastructure/projects/public-domain-improvement-projects.html) > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト<

[http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-](http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/trade-2018.html)

[0215/www.embracing2018.com/trade-2018.html](http://pandora.nla.gov.au/pan/146667/20190115-0215/www.embracing2018.com/trade-2018.html) > (Accessed 2019-03-12)

第3章

ABC NEWS, *Gold Coast to bid for 2018 Commonwealth Games*,

< <https://www.abc.net.au/news/2008-08-22/gold-coast-to-bid-for-2018-commonwealth-games/2575632> > (Accessed 2019-03-12)

ABC NEWS, *Gold Coast launches formal bid for 2018 Commonwealth games*
 < <https://www.abc.net.au/news/2010-03-31/gold-coast-launches-formal-bid-for-2018/388130> > (Accessed 2019-03-12)

コモンウェルスゲームズ連盟、*2018 Commonwealth Games Candidate City Manual*, 2011, pp.12< <https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/2018-Candidate-City-Manual.pdf> > (Accessed 2019-03-12)

2018 Gold Coast City Candidate File Volume 1
https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Gold_Coast_VOL_1.pdf >, *Volume 2* <
https://thecgf.com/sites/default/files/2018-03/Gold_Coast_VOL_2.pdf > (Accessed 2019-03-12)

.id consulting pty ltd , *The 50 largest cities and towns in Australia, by population 2018 update* < <https://blog.id.com.au/2018/population/population-trends/the-50-largest-cities-and-towns-in-australia-by-population-2018-update/> > (Accessed 2019-01-30)

オーストラリア統計局、*3218.0 - Regional Population Growth, Australia, 2016-17, Population Estimates by Significant Urban Area (ASGS 2016), 2007 to 2017*
<http://www.abs.gov.au/AUSSTATS/abs@.nsf/DetailsPage/3218.02016-17?OpenDocument> > (Accessed 2019-01-30)

クイーンズランド州政府、*GOLD COAST HEALTH & KNOWLEDGE PRECINCT Master Plan 2016*, 2016 < <https://www.dlgrma.qld.gov.au/resources/plan/gold-coast-health-knowledge-precinct.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

ゴールドコースト市ウェブサイト < <http://www.goldcoast.qld.gov.au/2018-commonwealth-games-legacy-research-reports-25136.html> > (Accessed 2019-02-24)

クイーンズランド州政府ウェブサイト
 < <http://www.statedevelopment.qld.gov.au/index.php/component/mtree/gold-coast-2018-commonwealth-games/555-carrara-sports-and-leisure-precinct> >
 < <http://www.statedevelopment.qld.gov.au/resources/factsheet/gc2018/carrara-factsheet.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト
 < <https://gc2018.com/sites/default/files/2018-02/GC2018-Venue-Map-Carrara-Sports-Leisure-Centre.pdf> > (Accessed 2019-02-25)

SBG カンパニーズ株式会社ウェブサイト
 < <https://www.sportbusiness.com/2016/04/sportbusiness-ultimate-sports-cities-awards-2016-new-york-city-triumphs-at-sportaccord-convention/> > (Accessed 2019-02-24)

Linked in < <https://www.linkedin.com/pulse/sportbusiness-ultimate-sports-cities-awards-2016-new-york-church/> > (Accessed 2019-02-24)

国際祭典・イベント協会ウェブサイト
<https://www.ifea.com/p/industryawards/worldfestivalandeventcityaward/pastrecipie>

nts > (Accessed 2019-02-24)
ゴールドコーストコモンウェルスゲームズ大会組織委員会、*Annual Report 2017-2018*, 2018, pp.17 < <https://gc2018.com/sites/default/files/2018-10/GOLDOC-Annual-Report-2017-2018.pdf> > (Accessed 2019-03-15)
ABC, *Commonwealth Games organisers 'guttled' after 14,000 incorrect tickets sent* < <https://www.abc.net.au/news/2018-02-14/commonwealth-games-opening-ceremony-ticket-error/9444896> > (Accessed 2019-03-12)
Carlini, Joan and O'Neil, Andrew, *Gold Coast business and the Commonwealth Games: Impact, legacy and opportunity*, Griffith Business School, 2017, pp.1 < https://www.griffith.edu.au/__data/assets/pdf_file/0040/296599/gold-coast-business-and-the-commonwealth-games-report-20171.pdf > (Accessed 2019-03-14)
クイーンズランド州政府、*Trade 2018 Evaluation Report*, pp.40 < <https://publications.qld.gov.au/dataset/gc2018-trade-2018-evaluation-report> > (Accessed 2019-03-13)

第4章

コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト < <https://gc2018.com/venue/marathon> > (Accessed 2019-03-14)
クイーンズランド州政府ウェブサイト、*Gold Coast Aquatic Centre Factsheet* < <http://www.statedevelopment.qld.gov.au/resources/factsheet/gcac-fact-sheet.pdf> > (Accessed 2019-03-13)
コモンウェルスゲームズ 2018 年ゴールドコースト大会ウェブサイト < https://gc2018.com/sites/default/files/2018-02/venue-map-optus-aquatic-centre_0.pdf > (Accessed 2019-03-19)

【執筆者】 シドニー事務所所長補佐 成田 静香 (和歌山県派遣)
同所長補佐 藤島 穰 (青森県派遣)
同所長補佐 渡邊 雄太 (総務省派遣)